

大谷大学広報

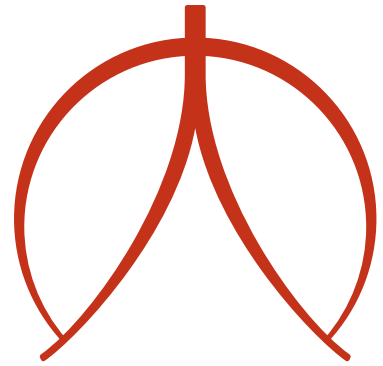
編集 大谷大学広報編集委員会

No.162

2005年7月8日

夏

2005



No Music, No Life ♪

学問のしおり

学びの出会い
豊住 征子

2005年度課外活動
春季大会結果

谷大エリア散策
堀内薬局

写真でふりかえる大谷大学今昔
闇影院空覧の死

SQUARE

愛・地球博に迷う
村山 保史

冬扇

新しい文化を導入する時はどこでも抵抗勢力がいる。新羅の6世紀、法興王が仏教を広めたいと願っても、その他の信仰にこだわる貴族たちは「僧侶は頭を丸めてまるで子どものような姿をし、常識では考えられないおかしい議論ばかりを口にします。仏教を認めたらきっと後で後悔することになるでしょう」と反対する。仏教支持派の異次頓は「この意見はまちが

いです。従来のしきたりを越える人がいてこそ、それまで知らなかったことが起こるのです」と真っ向から対立姿勢を崩さず、秩序を乱す者として異次頓の首がはねられる。すると、斬られた首から乳のように白い血が吹き出て、異次頓は殉死するのである。

白い血を見た貴族たちは仏教の不思議な力に驚き抵抗できず、新羅に仏教が認められる。実際はこの時期よりおよそ百年前に仏教は

新羅に入り、仏陀、達磨、僧伽の三法よりすぐれたものがないとも知らされていた。現状打破しない限り先が見えないとわかりながら、保守と個人欲に固執するあまり、既得権者がしがみつ়く思想の中身は、もはや仏教の教理に対抗できるものではなかった。

しかし、想像力欠如の凡人は目に見える奇跡がなければ考えを変えないのである。

(鄭 早 苗)



延塚 知道 のぶつか ともみち
(教授 真宗学)

裕次郎とひばり

私は生まれた時から歌を歌っていたと、両親はいつも言っていた。まさかそんなこともあるまいが、物心ついた時から歌は好きであった。小学校に行く前だったと思うが、「惚れ〜て、惚れ〜て」という三橋美智也の「哀愁列車」の一節を口ずさんでいたら、母親に、いきなり頭をたたかれて「子供はそんな歌を歌うものではありません」ときつくしかられたことがあった。子供が「惚れて」と言ったらなぜいけないのだろうと不思議に思ったことを、今でも鮮明におぼえている。

そんな私は、高校生位の時は、私でも歌手になれるのではと、ぼんやり思っていた。若い頃は、勢いはあっても愚かしいものである。特に仏教を学び始めてからは、歌は何を表現するのかという奥深さと、その表現力の難しさに気づき、歌うことの難しさを感じるようになった。下の娘が大谷大学の真宗学科で学びながら、歌の専門学校に2年かよい、コンサートですこしの報酬をもらうようになっていた。その頃、問わず語りに「歌で、お前は何を表現したいのか」と聞いたら、娘は「自分の自己表現だ」と答えた。私は、「おまえの自己なぞ誰も見たくないぞ」と言ったら、娘は考え込んでいた。「人間を超えた大きな世界とか優しさを、自分にしかできない個性的な表現方法で歌うのが、本物の歌手じゃない？」

そんな会話がとても楽しかった。「歌手になって、お父さんの大好きなジャガーを買ってあげるね」という娘の優しい言葉も、今では、ジャガーではなくかわいい孫に代わった。

美空ひばりと石原裕次郎の2人の歌手は、早くから記念館が建っている。2人は単なる歌の職人ではなく、本物の歌手であったのだろう。芸術表現には、2つの道があるように思う。1つは名人になっていくタイプ。いうまでもなく“ひばり”である。歌の技術といい、声の表現力といい、そのスケールの大きさといい、流石である。しかしある時からきっと、技術や、うまく歌おうとする人間の心さえ超えて、何か大きな優しさや悲しさを表現することに、専念させられるようになったのではなからうか。それに対して、裕次郎は始めから技術などはあきらめている。歌はへたでもこのままでいいではないか。自分は、丸ごと許されている。その幸せや、一切のものをそのまま包んで生かしてくれている大いなる優しさが伝わればそれでいいという、まったくのあきらめタイプである。さしずめ前者は道元で後者は親鸞か。親鸞を学ぶ私としては、もう演歌は卒業して、できれば裕次郎のような歌が歌いたいものである。

♪JASRAC

出0508181-501 ♪

CONTENTS

- p. 2 …No Music, No Life
- p. 9 …CAMPUS☆TOPICS
- p. 15 …「学生向け情報提供システム」からのお知らせ/データベースの利用について
- p. 17 …Keiji☆Ban
- p. 24 …「セクシュアル・ハラスメント防止のためのガイドライン」と「人権問題相談窓口」について
- p. 27 …学問のしおり
- p. 28 …2005年度 同窓会支部巡回講演会開催一覧
- p. 29 …谷大エリア散策
- p. 30 …写真でふりかえる大谷大学今昔
- p. 31 …2005年度課外活動春季大会結果
- p. 32 …出版物紹介
- p. 33 …大谷中学・大谷高等学校からのお知らせ
九州短期大学からのお知らせ
- p. 34 …研究室だより/学会だより
- p. 35 …2006年度 入学試験日程
- p. 36 …学生相談室から/学生数
- p. 37 …TANIDAI FRONT
- p. 40 …財務の概況
- p. 44 …SQUARE

表紙のことば

夏休み、どこへ行こう？
眩しい夏はその一言から
もう始まっている
うんと暑い夏を語ろう
メールの(^_^)では描けない
学舎に咲く向日葵のような笑顔たち

冬扇

詳しくは「夏炉冬扇」という。夏の炉や冬の扇のように役にたためことの意味に用いる。ここでは役にたつたない次元をこえて一筋の道に生きる精神をあらわす。

2005年7月8日発行
発行 大谷大学企画室
編集 大谷大学広報編集委員会
〒603-8143
京都市北区小山上総町 大谷大学企画室内
電話 (075) 411-8115
FAX (075) 411-8149



小野 啓三 おの けいぞう
(人文学部 第2学年)

音楽の力

私がギターを始めたきっかけは、高校の時に文化祭でライブをしようと友達に誘われたからである。当時ギターを触ったことすらなく、友達のみようみまねでギターを弾いてみたら、友達のようないい音がだせず、私はギターの難しさを知った。そこから、ギターを弾ける友達の家を毎日通って一生懸命練習した。そして、文化祭当日。700人くらいのお客さんを前に、自分のバンドが1番目の演奏ですごく緊張した。ライブが始まり、最初は座って聴いていたお客

さんもライブの終盤に近づくとだんだん、盛り上がってきて、ラストのSUM41の「STILL WAITING」という曲に入ったとたん、総立ちになっていた。ステージから見たその光景は言葉では言い表せないくらい熱気に包まれていて、その時に音楽の力を身体で感じる事ができた。私は今も大学のジャズ研究会でライブをしたり、スタジオで練習してギターの技術を磨いている。最近は大好きなBRAHMANというバンドの曲にチャレンジしたいと思っている。

自分のその時の状態によって、ドラムをたたくことによる効果や影響は違う。誰かに「ありがとう」と言われた時、悲しい場面に居合わせた時、心を揺り動かされる場面、ドラムは自分の生活をドラマ仕立てにする。心を躍らせ気持ちを動かし、涙を流す。私にとって、ドラムとは自分を形成する一部であり、何にも変えることのできない不動の存在なのである。

以前電車で「ドラムは俺の第2の恋人だ」と得意気に女の子に話している男の子に出会った。第2の恋人？なくても生きていけないではないか。私はその男の子と同じく、ドラムを演奏している。ドラムがなかったら今の自分はないと思う。恋人なんかとは比べられない。第2の恋人という言葉で収まらない恋人以上の存在だ。NO Music NO Life ドラムがなければ私は生きていけない！生きるために必要なもの、空気が水。確かになければ死んでしまうが、ドラムも私にとってはそうだ。

ドラムはドラマ



横田 恭子 よこた きょうこ
(文学部 第4学年)



小坂 美樹 こさか みき
(任期制助手)

Calling you 呼びかわす声に

映画『バグダッド・カフェ』で印象的に流れる歌Calling you。静かに響くやわらかな歌声は、夕日に染まる砂漠に浸透する水のように心の深い場所までおりていく。映画は不器用にしか生きられない人々のすれ違いとふれあいを描いている。この歌はおそらく誰もが抱くであろう悲しみを包み込み、繰り返されるI am calling youの一節がゆっくりと聴く者を満たす。

「私はあなたを呼んでいる。」

たとえ映画の内容が記憶から消えても、この歌は私の心に残るだろう。誰かを絶望的に呼びながらも、相手の地平に自分の声が届かないもどかしさをこの

歌は支えてくれる。私たちは常に誰かを求め、呼びかけている。そして同時に誰かも私たちがどこからか呼んでいるのだと思う。昨日と同じ日が繰り返される日常にも、強い光を放つ瞬間が訪れることがある。まさにそのとき、私たちは誰かに呼ばれているのかもしれない。そのことを忘れないように、私はこの歌を時折心に響かせるようにしている。

CALLING YOU: Bob Telson

©BOODLE MUSIC Assigned for Japan to BMG

Funhouse Music Publishing, Inc.

♪JASRAC 出0508181-501♪



窪田 純 くぼた じゅん
(総務課 職員)

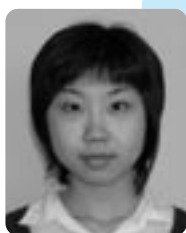
遺伝子と音

「絵画」は「音楽」に勝りこれに君臨する。何故ならそれは、薄幸な「音楽」のように、生まれた直後に死にはしない。「ダ・ヴィンチはこう言った。

音楽は薄幸であろうか。連続する音の美しさは音楽の素晴らしさであり、絵画と等しく優れたものである。消えゆく音は、新たな音を生んでゆく。生命に与えられた「遺伝子」の連続と同様に。

わざわざCDやMDをかけなくても、私は様々な音に包まれて生活している。雨が屋根に落ちる音、マツチが燃える音、革靴で歩く音、竹林の中で空から聞こえるカラカラという音…。静寂の中でさえ、聞こえてきそうな音もある。

音は、自分の意識とは無関係に私の感情を動かす。音を聞き、理由もなく心から何らかの感情が溢れてきた時、それはきつと、私に与えられた遺伝子の鎖が、はるか昔に聞いた音との再会を果たした瞬間でもあるのだろうか。



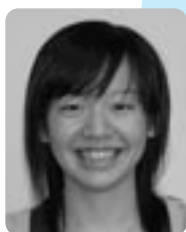
箭野 貴子 やの あつこ
(文学科 第3学年)

Communication Music

私が好きな「映画」というものには、初め、音がなかった。人の動きを見て字幕で物語を読み取るのである。映像に音がついたのはいつの頃だろうか？私が生まれた時、映画には、すでに音が欠かせないものになっていた。テーマ曲、効果音などの音が映像をよりリアルに、より効果的に演出しているのである。そして、その音を耳にするだけで何のシーンであったか頭の中に映像が蘇るのである。映像だけでは得られないものが音によって作られているのだ。

大好きな映画も母語でなければ、すんなりと理解できなかつたりする。しかし人は感情を音に託す。音によって喜怒哀楽が表現され、多くの人とその音を聞き、同じ感覚を得るのである。映画での言葉が母語でなくても音によってそのシーンがどういうものか理解できたりする。そして、嬉しいことに音というものは世界共通なのだ！

音が世界と自分をつないでいる。こんな簡単に世界とコミュニケーションが取れるものなどないだろう。



大石 佳奈恵 おおいし かなえ
(幼児教育科 第2学年)

吹奏楽 ～仲間という魅力～

私が小学4年生のとき、担任の先生が「吹奏楽っておもしろいぞお」と一言。その言葉をきっかけに、私は吹奏楽に興味を持ち、小学5年生のときブラスバンドクラブに入った。今思えば、なぜそんな些細な一言で興味がわいたのか不思議だが、その一言のおかげで、私は今でも吹奏楽の魅力にとりつかれている。今年ではや10年。さまざまな曲をさまざまな場所でたくさんの仲間たちと一緒に演奏してきたが、中でも一番思い出に残っているのは、J.ヴァンデル

ロースト作曲『ARSENAL (アルセナール)』だ。私の通っていた高校の卒業式では毎年、入退場の音楽を吹奏楽部が演奏することになっており、この曲はその退場曲だった。1、2学年のときは大好きな先輩方を送り出すために、涙を流しながら演奏した。3学年のときは後輩たちの演奏に涙しながら退場した。私はこの曲を聴くたびに、楽しかった高校生活を思い出している。これからもずっと、忘れることはないだろう。



安富 信哉 やすとみ しんや
(教授 真宗学)

音楽に癒された日々

1985年、客員研究員として米国、ウイスコンシン大学の浄土教のクラスに参加した。その折、私には果たしたい願いがあった。それは、かねてから音楽学部の客員教授と聞いていた、ベーシストのリチャード・ディヴィス氏に会うことだった。そんな私の意を汲んで、大学院生でジャズ・ファンのビル君が、同氏に連絡をとってくれた。

オフィスアワーの折、ディヴィス氏を訪ねた。クラシック音楽が流れる広い研究室には、グランドピアノが置いてあった。「この週末は、ニューヨークでコーラス・グループのマンハッタン・トランスファーと

演ります」とのこと。

ビル君が、小生について、趣味で楽器をしていると紹介したことから、ディヴィス氏はピアノを指して、「どうですか」と言われた。意を決して私は“Now's the time”を弾き始めた（同氏にこのタイトルのアルバムがあることをあとで知った）。予期せぬことに、ベースでバックアップしてくれた。感激！

浄土教のクラスは難しい問題が山積みであり、憂うつな気分にも襲われることもあったが、こんなエピソードも含めて、音楽に癒されることが少なくない日々であった。



杉本 沙織 すぎもと さおり
(社会学科 第3学年)

No Music, No Life — 音 —

木々のざわめき、雨の音、鐘の音、波音、靴音、飛行機が空を飛ぶ音。私たちの世界にはたくさん音の音が溢れかえっている。どこにでもあるこれらの音に人は耳を傾け、そのリズムや音色に気持ちを高ぶらせたり、安らぎを得たりする。

コンクリートジャングルと言われるほど自然が少なくなってきた現代、自然の発する音を聴くことはなかなか難しくなってきた。そんな中、ヒーリング効果を謳い文句に、小鳥のさえずりや波の音など様々な種類のCDが販売されている。

やはり、昔から自然とともに生きてきた人間にとって、自然の中にある音との関係は切っても切れない関係にあるのではないだろうか。できることなら、CDを買わずとも自然の発する音が聴ける環境が戻ってきてくれることを願う。



繆 暁陽 ミャオ ショウヤン
(留学研究生)

感情的な音楽～久石 譲～

日本に来て宮崎駿のジブリ作品を観るようになり、そこに流れる旋律に心地よさを感じた。今までは「ヤニン」、「シークレット・ガーデン」などのいわゆる海外のイージー・リスニングを聴いていたので、久石譲は私が日本に来て初めて好きになったミュージシャンでもある。『千と千尋の神隠し』

から始まり『天空の城ラピュタ』の「君をのせて」を口ずさみ、日本の友人に聴かせて、最近では『ハウルの動く城』を観に劇場にまで足を運んだ。手に入れたサントラを聴きこの夏に向けて彼の曲『SUMMER』を寮にあるピアノで現在練習中である。



夏目 実穂子 なつめ みほこ
(教務部 職員)

Oh Happy Day

Happy Day…。遠い記憶の中に流れる音楽を想うと、なぜか幸せな気持ちになる。休日の朝の眠りを妨げる、父の手でかけられる大音量のクラシック。夕ごはんの支度をしながら、ママさんコーラスで習った曲を口ずさむ、遠慮ない母の歌声。テレビのスピーカーの前にカセットデッキを一生懸命近づける兄の後ろ姿に、息をすることもためらう緊張感で録音されたアニメの主題歌。

優しい音楽に囲まれて、ある日聴いた曲

に感動し、込み上げる涙を抑えた経験が背中を押した。今、私は納まりきらない好奇心を胸にライブに臨む。周りの世界が広がると、窮屈になった心が解放されて、前に進みたいという願いが生まれてくる。

ゴスペル音楽は、生きる勇気を人びとに与える。

Oh Happy Day! 私に明日への力を与えてくれる。

ねている自分に気づく。
そういえば「音楽」の原語 music の語源はムシカ (musica, ラテン語) である。かつてヨーロッパ人は三種類のムシカを考えた。根本にあるのがムシカ・ムンダーナ。これは宇宙の音楽。天体の運行それ自体のハーモニー(調和)で

ある。人間の耳には絶対の静寂。ついでムシカ・フマーナ。これは人間自体の音楽。人間が人間として存在しているその総体のハーモニーである。これも耳で聞くことはできない。最後にムシカ・インストルメンタリス、あるいはムシカ・ソノーラ。これが楽器を演奏したり声で歌ったりする音楽。ようやく人が耳に聞くことのできる音楽である。前二者があつて初めてこの最後のヘムシカが成立する。

さまざまに音に沸きかえり、常に何らかの音に接している現在だからこそ、その音たちを支える静寂そのものであるヘムシカに思いを馳せ、それに耳を澄ますべきなのかも知れない。嗚呼、深山の静寂が懐かしい……

静寂こそ音楽

加治 洋一 かじ よういち
(助教授 比較文化論・仏教学)



とにかく世間は騒がしい。巷には音楽が溢れ、騒音が耳を衝く。突然間近で着信音が鳴り響くかと思えば、携帯で喋る声が追いつが

ある。人間の耳には絶対の静寂。



内藤 美貴子 ないとう みきこ
(人文情報学科 第3学年)

大好きな曲から学びたい

去年、従妹に連れられて行ってきた『アイダ』。ご存知の通り某有名劇団のミュージカルであるが、これほどまで完成された完璧な歌を聴いたことはなかった。中でも、『ローブのダンス』では人間技と思えない、地獄のような練習があつたと感じさせられる歌唱力をみた。私の大好きな1曲である。

私は数年前から箏曲を学んでいるが、いつも自己満足で終わってしまう

と気がついた。はたして、人の心に刺激を与える演奏はできるのだろうか。

自分には無理だとさまざまな言い訳をしては弱音を吐き悪い方へと考えてしまう自分が情けなく感じる。そんな自分が恥ずかしくなった。

完璧な歌を聴いたことで自分の中で何かが変わった。この気持ちを大切に人に感動を与えられる演奏ができるよう、日々精進につとめたい。



宮川 愛美 みやがわ めぐみ
(人文情報学科 第3学年)

南の島の歌姫

2001年4月20日、「MUSIC STATION」に出演後、彼女は音楽業界から姿を消した。私は当時の映像を今でも鮮明に憶えている。懸命にマイクに向かって歌う彼女の表情や、声。そして“痛い”と訴え、歌うという行為を排泄と自らの浄化とするCoccoの世界だけが存在した。見ている私も映像という隔たりを越え、その波動の塊を心を感じた。歌い終わり演奏が終わらぬ中、彼女はキスを投げ、走り去っていった。私は今でもあの振り返らない彼女の背中が忘れられない。

初めてCoccoの曲を聴いたのは、13歳の時。すべてが体の中に入り込んでくる感じがとてもたまらなかった。私の思い出の中に織り込まれているCoccoの楽曲は今でも根強く花を咲かせている。あれから4年経った今、あの時決して振り返らなかつた彼女が、なんと5月に新ユニット“SINGER SONGER”として再デビューを果たした。形は変われども、また歌う彼女を見られることをとても待ち遠しいと思う。



瀧上 陽子 たきがみ よこ
(学生課 職員)

おんがくのたのしみかた

小学校時代のお気に入りノートの見つけ方を見て笑ってしまった。すっかり忘れてしまっていたが、私は好きな曲をカセットテープに録音し、歌詞をノートに書き記すのが趣味だったのである。

ノートには、当時私が聴いていた曲の歌詞が、ひらがなとカタカナと、ごくわずかな漢字を使って書かれている。ノートを読んでいて驚いたのは、自分の耳に聴こえたままに書いているので、「ウオウオウオ」「フッフ」「ベベチユチユポー」などのコーラス部分も小学生の私は書いているのである。それでも、歌詞との違いは感じていたのか、コーラス部分はすべてカタカナで記入しているのもおもしろい。あるいは、歌詞ではないと分かっていたが、正確に曲を書き記し

たい一心でコーラス部分を書いていたのかもしれない。ほかにもおもしろい書き方をしている所があつて、音を伸ばす場合には、「か(のばす)みふぶき」や、「やさしすぎーて」のように書いているのである。また、曲名のわからないものは、「タッチ(さいごのきょく)」、「ゲゲゲのきょうさいしよのうた」と書いており、自由に楽しんでいた様子が伝わってくる。また、この頃は、姉と一緒に曲に合わせて踊るのが大好きだった。もちろん、振り付けも自分たちでひとつひとつ考案するのである。マンガ「魔女っこメグちゃん」の主題歌から中森明菜までいろいろな曲で楽しんでた。これが私の小学校時代の音楽の楽しみ方だ。

神戸和麿先生、ノーマン A. ワデル先生に名誉教授の称号おくられる

大谷大学名誉教授称号授与規程に基づき、本学の教育上また学術上、特に功績のあった先生におくられる名誉教授の称号が、神戸和麿（真宗学）、ノーマン A. ワデル（英米文化・日本仏教文化）の両先生におくられました。授与式はワデル先生が4月1日、神戸先生が4月15日に学長室において行われました。（総務課）



神戸和麿名誉教授



ノーマン A. ワデル名誉教授

本学卒業生、第21回太宰治賞受賞

本学文学部国際文化学科卒業生の津村記久生(本名：津村紀久子)さんが「第21回太宰治賞」(筑摩書房・三鷹市共催)を受賞されました。太宰治賞は、1964年に筑摩書房が創設した小説の新人賞で、



津村記久生(本名：津村紀久子)さん

この賞から金井美恵子、吉村昭、加賀乙彦、宮尾登美子、宮本輝など多くの作家が生まれています。本年は5月10日に927篇の応募作品の中から、津村さんの『マンイーター』と川本晶子さんの『刺繍』が選ばれ、初のダブル受賞となりました。

本学の卒業生では、文学部哲学科卒業生の小林ゆりさんが第19回太宰治賞を受賞し、本学では2人目の受賞です。

京都を舞台に描かれた受賞作品は、大学卒業間際の女子学生が息衝く、個性光る作品です。選評者からは「現代の若者の世界が深々

と描かれた作品」とも評価され受賞となったものです。津村さんは現在、製本の仕事をされる傍ら、小説の創作に励んでおられ、今後の作家津村記久生さんのますますのご活躍が期待されます。

～津村記久生(本名：津村紀久子)さんからひとこと～

自分が大谷大学にいた頃を懐かしく思いながら書いたお話です。ご自分の学生生活との差異などを考えながらお読みになってくださるととても嬉しいです。10月に単行本が出るそうです。どうぞよろしくお願い致します。

(企画室)

本学卒業生が、詩集を共同出版

本学文学部社会学科卒業生の北川幸子(ペンネーム：Sachi)さんが、2005年4月、新風舎から詩



北川幸子さん

集『Only One-答えはいつだって私の内だけにある-』を出版されました。北川さんは、本学在学中、高井康弘教授のゼミに所属し、生きることへの疑問、悩みなど感じたことを詩として創作しておられました。そんな学生時代、心の叫びを綴った詩とお母様である北川美代さんの写真を詩集に編集し、新風舎の作品募集に応募。共同出版の運びとなりました。卒業された現在は、アパレル会社に勤務す

る傍ら、創作活動に励んでおられます。

北川さんは「私にとって詩の創作は自己分析のようなものです。在学中は大谷大学育英奨学金をいただき、詩集の出版に際しては、とてもありがたかったです。今回、自分の心を形に残すことができ嬉しいです」と語ってくれました。今後の北川さんのますますのご活躍が期待されます。

(企画室)

湖西キャンパスフェスタ「人魚姫」上演

5月21日(土)午前10時30分から、湖西キャンパスセミナーハウスにおいて、湖西キャンパスフェスタが開催されました。湖西キャンパスフェスタは、大学と地域社会との交流を深めていくことを目的に開催され、大津市地域子育て支援センター・風の子保育園や仰木の里市民センター、子育て支援サークル「さくらんぼクラブ」のご協力のもと、約50家族、100名の方々に参加いただきました。

今回は、短期大学部幼児教育科音楽教科学生によるミュージカル「人魚姫」の上演のほか、子供たちと手あそびやゲームをして大変盛り上がりました。終了後も、衣装の作り方を熱心に質問されたり、帰るのをいやがって泣いている子もいました。また、地域の子育てサークルの方から上演の依頼を受けるなど、大変好評のうちに終わりました。

上演されました「人魚姫」は、

現在、本学ホームページにおいてストリーミング配信中です。

<http://web.otani.ac.jp/streaming/>
(教育研究支援課)



人魚姫の一場面

北区50周年記念植樹式にて吹奏楽団ファンファール演奏

6月5日(日)、船岡山公園にて行われた北区50周年記念植樹式で、本学吹奏楽団がファンファールを演奏しました。この植樹式は、北区民ふれあい事業実行委員会・北区役所主催により開催された《北区民ふれあいまつり2005》の中で行われたもので、当日は初夏の晴天に恵まれ、地元住民の方々と賑わっていました。ファンファールの演奏に合わせ、京都市長榎本頼兼さんらが、スコップを手にクス

ノキを植樹され、同時に10年後に20歳を迎える小学校4年生の子供たちが綴った「はたちの私へのメッセージ」を封入したタイムカプセルの埋設も行われました。

金管楽器を中心とした吹奏楽団のメンバーは、若々しい音色を青空に響かせ、イベントを盛り上げました。吹奏楽団部長、国際文化学科第3学年の藤本美奈子さんは「演奏を通じて、地域の人々とふれあうことができるのはすごく嬉

しいです」と話してくれました。
(企画室)



吹奏楽団の演奏

「若葉祭！」

新入生を歓迎する「若葉祭」が、4月9日(土)に開催されました。当日は天気も非常に良く、キャンパス内は例年以上の多くの学生でいっぱいでした。特設ステージで



若葉祭の様子

は、ビンゴ大会が行われたり、音楽系のクラブが、先輩の威厳をかけて日頃の練習の成果を存分に披露し、新入生たちもそれに応えるように盛り上がりしていました。

新入生勧誘の声があちこちで響く中、構内に設けられた各クラブのテントでは、入部を希望する新入生と、所属するクラブの説明をする先輩との楽しそうな笑い声が1日中聞こえました。

また、1号館の各教室では、文

化系のクラブをはじめとする各クラブの様々な催しものが開催されたり、活動記録や力作揃いの作品が並びました。新入生は興味津々、先輩の力作である展示品などを見ていました。

今年の「若葉祭」が、新入生にとっても先輩にとっても非常に活気にあふれた思い出の1日になったでしょう。

(学生課)

課外教育行事-異文化との出会い- よみがえったシルクロードの音色「天平楽府」コンサート開催！

去る6月8日(水)、本学講堂にて劉宏軍^{リウホンジュン}氏の率いるオーケストラ、「天平楽府」の室内アンサンブルコンサートが、α-stationエフエム京都 (FM89.4) の後援により開



天平楽府

催されました。奈良の正倉院に1200年もの昔から伝わる古楽器、五弦琵琶や四弦琵琶、笙や箏^{しやう}などによる天平の音色がみごとに現代へと蘇ったのです。音楽監督でもあり演奏家でもある劉氏は、1980年の来日以来、アジア民族音楽の研究、演奏、作曲活動をはじめ、特に正倉院が所蔵する古楽器に惹かれ、積極的にそれらの楽器の複製製作をされてきました。

公演当日は、本学学生や一般来聴の方々などで会場の席はほぼ埋

め尽くされ、大盛況のうちに、公演は終了しました。天平時代の音色というと、ゆったりとした調べを思いがちですが、同時代の美術からも窺えるような躍動感あふれる音楽も演奏され、来聴者の方々も驚きと喜びいっぱい聴き入っていました。公演後も「貴重な音楽を聴くことができた」「機会があればぜひもう一度聴いてみたい」といった感想を多くいただきました。(学生課)

大谷学会春季公開講演会開催

5月24日(火)午後1時より、講堂において、大谷学会春季公開講演会が開催されました。毎年、学内と学外からそれぞれ1名の先生に講演をしていただいています。今年度の講師・講題は次の通りでした。

大谷大学教授 吉元信行氏「仏陀最晩年の老病死観」

同志社大学神学部教授 森孝一氏「イラク戦争の大義とアメリカの宗教」

仏教学を専攻されている吉元先生は、仏陀最後の旅路の様子を克明に伝えている『大パリニッパ-

ナ経』を取り上げ、この経典を引用しながら、仏陀が自らの老病死に如何に立ち向かわれたかを、映像を使ってわかりやすく、お話をしてくださいました。

また、アメリカ宗教史を専攻されている森先生には、「9・11」

以後の「宗教国家」アメリカの現状について、また「対テロ戦争」というイラク戦争の大義



吉元信行先生

とアメリカが目指すものをブッシュ大統領の演説を資料にして、詳しく分析・解説をしていただきました。

対外広報の成果もあってか、学外からの参加者も多く盛会裏に終えることが出来ました。(大谷学会)



森孝一先生

宗祖誕生会

6月1日(水)午前10時から、講堂において、宗祖親鸞聖人御誕生会が厳修されました。真宗大谷派では、4月1日に行われていますが、大学では春休み中を避け、毎年6月1日に行っています。

今年度は、勤行に引き続き、大阪大学教授 平 雅行氏より「親鸞と中世民衆」と題して記念講演をいただきました。先生は日本中世史がご専門ですが、そのお立場から親鸞が生きていた中世はどのような時代であったのか、

また親鸞は民衆とどのように関わっていたのかをお話くださいました。中世は「宗教の時代」とも言われますが、宗教は当時の社会・国家と密接に関わって、民衆の身分制を正当化し、民衆を支配するシステムとして機能していました。それは民衆の救済という宗教本来の姿から遊離した状況といえますが、そのような時代に生まれた親鸞は、どこまでも民衆の苦悩に寄り添いながら生きた仏者であることを明らかにしてくださいま

した。特に『歎異抄』第四条の内容に注目され、そこに見られる慈悲の思想は、当時の飢饉にあえぐ民衆の苦悩が背景にあり、その中で民衆とともに苦しみ悩む体験から生まれたものであるとお話くださいました。(総務課)



平雅行先生

カリキュラム改革の目玉「学びの発見」始まる

本年度より第1学年の必修科目として「学びの発見」が始まりました。高校教育からの転換と、大学教育への接続のための基礎教育であり、自らの知的好奇心（問い）



授業風景

に促されて行われる大学での「学び」への導入を目的とする授業です。1週に連続する2時間で行われ、前期だけで完結します。

学科単位で編成されたクラスに教員1人が付き、1人の教員に3～4人のTA(ティーチング・アシスタント)を配して、少人数のグループでさまざまな作業を行います。

その内容は、自由な発想でアイデアを広げるための「ブレーン・ストーミング」、バラバラにある情報を収束し整理するための

「KJ法」、発想し収束・整理された情報を他者へ伝えるための「レポート作成」、他者の発想に学ぶため、図書館やネットで外部情報検索を行う「関連資料リスト作り」の4つのユニットからなります。

教室から聞こえてくる学生の明るい弾んだ声を聞くと、彼らがこの大学で大きく成長してくれるものと、期待がふくらみます。

(草野 顕之)

“人権を共に考えよう” 全学学習会の開催

5月25日(水)午後4時10分より、講堂にて“人権を共に考えよう”全学学習会が開催されました。昨年の差別落書事件をふまえて、今回は「部落差別の現在」というテーマでの学習会をもちました。第1部では宮下晴輝人権委員会委員長が差別落書事件の経緯を説明し、本学の初期対応などに関する反省点も述べられました。第2部では講師に部落解放同盟京都府連の安田茂樹さんをお迎えし、「部落差別の現在」という題で講演をいただきました。

部落差別に起因するさまざまな「格差」が、表面上は均されつつある今日、部落差別はややもすると過去の問題とみなされ、部落差別についての学習さえもが、まるで「寝た子を起こす」不要の行為であるかのように語られる傾向にあります。本学でも、差別落書事件後の取り組みの一環として昨年

末から今年始めにかけ、クラス・ゼミ別の学習会を行った際、「部落差別は過去の出来事である」や「(歴史的な事柄は習ったが)部落差別の現状がわからない」、「部落問題学習はもはや必要ないので」といった学生の声が多量に寄せられたと報告されています。

このような現状を考えたとき、2003年に京都で実際に起こった結婚差別事件を例に、いまなお根強い部落差別の現状とその課題を明瞭に示された安田さんの講演は、まさに時宜をえたものであったと言えるでしょう。差別発言の実録テープも交えた具体的で生々しい説明と熱の入ったお話しぶりに、私たちは今後もひきつづき部落問題に取り組み、部落問題学習を推進させていくことの必要性和意義をあらためて確認しました。

参加者は約120名。「全学学習会」

にしてはいささか寂しい数字ではありませんでしたが、多くの方が共感をもって熱心に耳を傾けられた様子が参加者アンケートに示されていました。

なお、差別落書事件についての、本学の人権委員会から学長に提出された「報告書」(本年3月24日付)は、教職員には配布しておりますが、学生の皆さんの中で読みたい方がおられましたら、人権センターまでお越し下さい。

(人権センター)



安田茂樹氏

大谷大学情報ネットワークシステム (OUNET) 利用指針の制定について

大谷大学情報ネットワークシステム (通称: OUNET) は、1996年度に第一次整備をおこなった後、さらに整備を重ね、響流館の完成を経て、より高度な情報ネットワークとなりました。一方、利用者の情報リテラシーは普及し、本学においても、今年度から必修科目としての科目提供がなくなりました。

「大谷大学情報ネットワークシ

ステム利用指針」は、これらの環境変化に伴い、あらためて OUNET の利用ルール及び管理運用について制定されたものです。利用者のみなさんには、すでにメールでお知らせをいたしました。新生生の諸君には、OUNET 利用説明会でテキストを配付しています。

利用指針では、印刷枚数の上限を設定したほか、アカウント発行

ルールの変更、利用者の環境の変更など、新たに定められた事項も多くあります。

2005年4月以降、OUNETはこの利用指針に基づいて運用されています。ぜひ、ネットワークを活用するとともに、安全管理にご協力ください。

(教育研究支援課)

OUNET利用指針URL

http://www-i.otani.ac.jp/OUNET_riyo.pdf

オープンキャンパス開催

去る6月25日(土)、今年度最初のオープンキャンパスが開催され、全国各地から合計267名の参加がありました。開催にあたっては、学科やクラブの有志、個人参加など約40名の学生ボランティアスタッフにご協力いただきました。ま



オープンキャンパス受付の様子

た、人文情報学科では、3号館の情報処理教室で、「葵祭プロジェクト」(葵祭をデジタルコンテンツで紹介する企画)のデモンストレーションを行いました。フリートークコーナーや学内案内などでは、受験生からのさまざまな質問に答えたり、学生生活について話をするなど、在学生の視点から本学の雰囲気伝えることができました。

1号館の教室には、文学部8学科、短期大学部3学科の教員による学科相談コーナーや、入試・奨学金・下宿・クラブ・就職などの

相談コーナーを設置しました。また、模擬授業も5講座が開講されました。講堂で行われた大学説明会では、大学の概要や入試に関する留意点などの説明が行われました。博物館の観覧にも多くの高校生が参加しました。

今年度のオープンキャンパスは、7月31日(日)、8月1日(月)、8月2日(火)、9月23日(祝)にも開催を予定しています。今後も多くの高校生、ご父母兄弟の方々に参加していただき、本学の魅力をアピールしていきたいと思えます。

(入学センター)

ドイツ マールブルク大学学術交流会に参加

5月5日(木)から4日間、マールブルク大学において「内的平和と暴力の克服: 試練に立つ諸宗教の伝統」というテーマのもと第5回国際ルドルフ・オットー・シンポジオンが開催されました。本



シンポジオンの様子

学から5名の教員が参加し、キリスト教をはじめとする諸宗教の研究者と学術交流を行いました。

近年、本学とマールブルク大学とは、浄土真宗と福音主義キリスト教の対話という形で共同研究を続けてきましたが、今回のシンポジオンでは、イスラム教・ヒンドゥー教・ユダヤ教の代表も交えて、宗教に根ざす暴力や戦争はどうしたら克服できるかという現代世界が直面する切実な問題が論じられました。

「暴力を越えて宗教が共存していくためには何よりも対話と寛容の精神が必須である」という基調の発表が多いなかで、門脇健教授と木越康助教授による発表は、自らの悪を自覚するところからこそ他者を認め共に生きる世界が開かれていくという真宗の視点を提示し、聴衆の関心を集めました。最終日の5月8日が敗戦60周年記念日にあつたこともあり、ドイツ宗教者の真摯な思いが伝わる学会でした。(井上 尚実)

本学における個人情報の取り扱いについて

本学が保有する学生諸君の個人情報には、氏名のような、そのみで特定の個人を識別できる情報以外にも、生年月日・住所・電話番号・電子メールアドレス・印鑑の印・性別・学生番号・成績・人物評価・履修登録表のように、個人の属性、所有物や関係事実等を示す情報によって、その個人の氏名等が容易に照合でき、特定の個人を識別することができるものがあります。2005年4月1日に完全施行された個人情報保護法のもとでは、それらの全てが保護すべき対象となります。

本学では「個人情報保護に関する規程」を新たに制定し、個人情報の保護に努めるべく、業務の取り扱いには十分慎重を期すように取り組んでいます。本学のような教育機関にあっては、保有する個人情報のほとんどが学生等に関する情報であり、個人情報の漏えい、滅失等があった場合、社会的に与える影響は大変大きいものになります。したがって、そのような事態が起こらないように、日頃から適切な対応を心がけております。

なお、本学が保有する個人情報の主な項目例、並びに利用目的や情報開示に関する取り扱いについては、以下に示すとおりです。

1. 保護の対象となる個人情報の項目例

(1) 在学生

身元・身上情報、学歴・学位情報、保証人情報、家族・親族情報、健康管理・医療情報、金融・信用情報、社会保険情報、学籍情報、履修・成績情報、学費納入情報、求職・進路指導情報、調査書情報、進路先・勤務先情報、奨学生（応募）情報、課外活動情報、施設設備利用情報、図書館利用情報、賞罰情報、免許資格情報、コンピュータ利用情報

(2) 本学を離籍した学生等及びその保証人、父母、家族並びに親族

身元・身上情報、学歴・学位情報、保証人情報、家族・親族情報、健康管理・医療情報、金融・信用情報、社会保険情報、学籍情報、履修・成績情報、学費納入情報、進路指導情報、進路先・勤務先情報、奨学生（応募）情報、課外活動情報、図書館利用情報、賞罰情報、免許資格情報

(3) 在学生等の保証人、父母及び家族又は親族

身元・身上情報

2. 個人情報の利用目的について

- (1) 本学は、学生諸君の個人情報を、教育・研究を遂行するための業務に利用します。
- (2) 本学は、学生諸君の個人情報を、事務上の連絡、アンケート、調査等を目的に、電話、郵便、宅配便、電子メール、その他の手段により、必要事項を本人に告知、送付するために利用します。
- (3) 本学は、学生諸君の個人情報を、大谷大学情報ネットワークシステム（OUNET）、学生向け情報提供システムのセキュリティを維持するために利用します。
- (4) 本学は、学生諸君の個人情報を、本学の教育・研究の自己点検、教育課程の開発、施設設備の利用状況の把握及び改善に役立てるために、コンピュータ等を利用した統計・分析に利用する場合があります。
- (5) 本学は、学生諸君の個人情報を、本学が委託された調査、アンケートへの回答を目的に、コンピュータ等を利用した統計・分析に利用する場合があります。但し、この場合本学から第三者に対して個人情報を提供することはありません。
- (6) 本学が取得した個人情報の利用は、取得の際にあらかじめお知らせした範囲内に限るものとし、その目的以外の用途には利用しません。

3. 委託及び共同利用に関する事項

本学は、業務の遂行上、業務の全部又は一部を委託する場合、個人情報の守秘義務の管理、監督を含む契約を結ぶことにより、個人情報の安全管理措置を遵守して利用します。また、利用目的の範囲内で、大谷大学教育後援会及び大谷大学同窓会と個人情報を共同して利用する場合があります。

(1) 大谷大学教育後援会

学生諸君の個人情報として提供された保証人の名前、住所、連絡先については、本学が保有し、保証人により構成される教育後援会の活動を目的として同会が実施する、「大谷大学通信の送付」、「同会の案内送付」のために利用する場合があります。

(2) 大谷大学同窓会

学生諸君の個人情報のうち、氏名、住所、電話番号（以上、卒業後に変更されたものを含む）、学生番号、性別、生年月日、卒業年月、入学年度、指導教員、学部学科分野研究科専攻、所属クラブについては、大谷大学同窓会と共同して保有し利用します。

4. 開示に関する事項

本学は、学生諸君の個人情報をできるだけ正確かつ最新の内容で管理します。本人から申し出があったときは、本学が保有する個人情報の開示を行います。また、内容が正確でないなどの申し出があったときは、その内容を確認し必要に応じて個人情報の追加、変更、訂正または利用の停止を行います。

5. 開示受付窓口

個人情報の開示は、個人情報の各管理窓口（教務部、学生課、進路就職センター、入学センター、教育研究支援課、図書・博物館課等の事務窓口）で受け付けます。開示には、時間がかかる場合があります。各窓口でお尋ねください。

個人情報の開示には、手数料がかかります。開示内容によっては、実費を請求する場合があります。

「個人情報保護に関する規程」は、本学のホームページ上に掲載されています。必ずお読みください。

「学生向け情報提供システム」を利用しよう！

本学では、学内の掲示板にてお知らせしている事項や、問い合わせの多い事項などに即時対応するために「学生向け情報提供システム」を稼動しています。学内外のパソコンから本システムを利用することで、学生生活に必要な情報をカテゴリごとに配信する掲示板をはじめ、授業情報、時間別教室状況、就職支援などのサービスを受けることができます。また、携帯電話からも休講情報などのサービスを利用することが出来ます。(科目等履修生・聴講生も全サービスを利用できます)

学生の皆さん、パソコン版・携帯電話版「学生向け情報提供システム」をバランスよく利用して、有意義な学生生活を送りましょう！



パソコン版「学生向け情報提供システム」TOP画面



携帯版「学生向け情報提供システム」TOP画面

【使用方法】

＜パソコン版＞

大学ホームページ上、「学生向け情報提供システム」ボタンからログインして下さい。

＜携帯電話版＞

携帯電話の「インターネット接続」より下記URLを入力するか、右のQRコードを利用し、ログインして下さい。

<https://www1.otani.ac.jp/m/> (ID・パスワードは、パソコン版と同じです。)



注：①携帯電話が「SSL対応機種」である必要があります。②通信料については、個人負担となります。③携帯電話版「学生向け情報提供システム」は、パソコン版の情報を一部表示するものです。掲載内容については、必ずパソコン版で確認するようお願いします。

データベースの利用について

教育研究支援部では、データベースの利用サービスを提供しています。図書館のHP「情報検索 (OLIS)」から「データベース検索」を選択し利用してください。下記に、今年度より新たに利用できるデータベースとその内容について紹介します。

国立情報学研究所

GeNii【ジーニイ】 学術コンテンツ・ポータルの主なデータベース

CI Nii【サイニイ】(論文情報ナビゲータ)

- ・日本の学術論文を中心とした論文情報を得ることができます。

Webcat Plus (Nii図書情報ナビゲータ)

- ・図書や雑誌を検索し、所蔵している大学図書館などを知ることができます。
- ・「連想検索機能」により、求めるテーマに関連する図書を効率的に探すことができます。
- ・毎週追加される最新の図書から、明治期以前に発行された古い図書まで、一括して探すことができます。
- ・日本語図書、英語図書は、目次、内容情報を見ることができます。



GeNii学術コンテンツ・ポータルに掲載されているデータベースの中で、一部学外からアクセスできないものがあります。また、下記のデータベースは、大学が機関契約しているものですので、学内でのみ利用することができます。

JapanKnowledge

ネットアドバンス社が提供する辞典・辞書を中心に構成されている、収録項目数約153万件（2005.2現在）のデータベース。

* 使用後はログアウト（オフ）してください。



毎日 News パック

毎日新聞社、ジー・サーチが提供する毎日新聞記事データベース。各本社、支社が発行する新聞記事、および都道府県の地方版の記事が収録されています。また、1998年6月からの記事中の写真、図表も収録されています。

* 使用後はログアウト（オフ）してください。



ヨミダス文書館

読売新聞社が提供する読売新聞記事データベース。本版・地方版に加え、英字新聞「The Daily Yomiuri」の記事が検索できます。

* 使用後はログアウト（オフ）してください。



総務課

暁天講座の開講

本年度の暁天講座を次のとおり開講いたします。

- 7月19日(火) 沙加戸 弘 本学教授
『御絵伝』絵解略史
- 7月20日(水) 本多 弘之 親鸞仏教センター所長
「時を超えたものに触れるとは！
——如無為の恵み——」
- 7月21日(木) 名畑 崇 本学名誉教授
「京都の親鸞聖人、その後」

- *いずれも講堂において、午前6時30分から開講します。
- *終了後、学内食堂において、朝粥を用意しております。

安居の開講

真宗大谷派の今年度の安居が、本学において次のとおり開講されます。

期間 7月16日(土)～7月30日(土)
場所 大谷大学

なお、開講式(7月16日)と満講式(7月30日)は、真宗本廟阿弥陀堂において行われます。

講本・講者
〔本講〕『尊号真像銘文』
嗣講 名畑 崇
〔次講〕『一念多念文意』
擬講 本多 弘之

*安居(あんご)とは、梵語(ぼんご) varṣaまたはvārṣikaの訳語で「雨期」の意。古来インドでは、夏の雨期になると遊行(ゆぎょう・僧が諸国をめぐっての説法、教化すること)が難しく、また、草や虫を踏み殺してしまう恐れがあるところから、精舎と呼ばれる窟院に住して修行した故事による、と言われていています。僧侶が雨期などある期間外出しないで一定場所に居住し、学習することをいいます。

図書館

夏期休暇中の図書館の館外貸出について

- 通常の貸出手続きによって借り出している図書は、すべて返却した後、夏期休暇中館外貸出の手続きを取ってください。
- 手続きには**利用者カード(学生証・職員証および利用証)**を必ず携帯してください。

■貸出冊数(通常貸出冊数と同じ)

科目等履修生・聴講生	5冊
文学部・短期大学部学生	10冊
大学院学生	
非常勤講師	
元教育職員・事務職員	20冊
教育職員・事務職員	

■手続期間

7月22日(金)～9月2日(金)

■返却日

9月22日(木) 厳守

夏期休暇中の図書館開館日時について

夏期休暇中(8月1日(月)～9月16日(金))は、短縮開館となります。但し、土・日・祝日、大学事務休止日(8月10日～17日)は休館します。

また、8月18日、19日は響流館(図書館・博物館・総合研究室)は休館します。
9月19日(月)より平常通り開館します。

*詳細、変更(臨時休館)は掲示・ホームページにてお知らせします。

図書館での外国語衛星放送の視聴について

図書館のAVブースでは、以下の外国語衛星放送（日本語衛星放送を含む）を視聴することができます。積極的に活用してください。

詳しい利用方法等は、図書館カウンターでお尋ねください。

英語放送
・BBC
・CNN
・Channel News Asia
中国語放送
・楽々チャイナ
・Channel V
・CCTV 1

韓国語放送
・KNTV
韓国語／英語放送
・Arirang TV World
日本語放送
・NHK-BS 1
・NHK-BS 2
・スペースシャワーTV
・スカイA

教務部

前期試験について

今年度の前期試験は、7月21日(木)より29日(金)までの期間に実施します。試験方法・時間割等詳細は、7月7日(木)に掲示します。教務部提出のレポート受付は次のとおりです。

受付日時

7月27日(木)・28日(木) 10:00～18:30 (時間厳守)

(18時30分を過ぎたものは一切受け付けません。注意してください。)

受付会場

文学部・大学院…… J103教室
短期大学部……… J102教室

前期追試験について

病気等の理由で前期試験を受けられなかった場合には、教務部へ出願することにより、次のとおり追試験を実施します。

(許可理由等の詳細は『履修要項』で確認してください。)

①出願期間

当該科目試験日から一週間以内。ただし、7月29日(金)の試験については8月4日(木)が出願締切りになります。

②追試験要項および時間割発表

8月19日(金)

③追試験日

8月23日(火)・24日(水)

真宗大谷派教師前期修練について

文学部第3学年主対象の前期修練は次のとおり行われます。受講予定者は掲示板で受講班を確認してください。

第1班

8月5日(金)～8月11日(木)

第2班

8月19日(金)～8月25日(木)

第3班

8月30日(火)～9月5日(月)

第4班

9月6日(火)～9月12日(月)

集中講義期間について

今年度の集中講義期間は次のとおりです。各科目の日程については時間割表・掲示物で確認の上、受講してください。

集中講義期間

9月5日(月)～9月16日(金)なお、教室については7月7日(木)に掲示します。

後期の日程について

9月19日(月)は敬老の日ですが、この日より後期授業が始まります。

また、この日に前期成績の「履修単位通知書」を配付しますので、学生証持参の上、講堂棟1階ホワイエにて受領してください。

9月28日(水)～9月30日(金)は修正登録期間です。前期評価の結果、登録の修正が必要な場合はこの期間中に手続きをしてください。修正の可否、追加募集科目等の詳細は7月中旬に掲示にてお知らせします。

卒業研究の提出について

◎卒業研究提出・題目変更締切日について

明年3月、短期大学部卒業見込み学生は、右記の一覧表で卒業研究提出締切日等を確認の上、期日を厳守してください。

なお、題目を変更する場合は、所定の「題目変更届」を教務部窓口で受取り、指導教員の承認印を得た上で、右記の題目変更締切日までに教務部へ提出してください。

◎提出場所について

教務部窓口へ提出してください。

なお、締切最終日のみ右記の会場へ提出してください。

— 提出締切日時について —

種 別	題目変更締切日	論文提出締切日時
卒業研究(仏教科・文化学科)	10月24日(月)	10月31日(月)午後4時
卒業研究(幼児教育科)	11月22日(火)	11月30日(水)午後4時

— 提出最終日の会場について —

種 別	最終日	会 場
卒業研究(仏教科・文化学科)	10月31日(月)	至誠館2階会議室
卒業研究(幼児教育科)	11月30日(水)	至誠館2階会議室

(注意事項)

■論文等の提出方法や様式については、『履修要項』・『卒業研究作成の手引』で確認してください。

■ワープロ使用や縦書・横書等の様式については、学科等により制限事項が異なりますので、事前に指導教員と相談してください。

なお、ワープロを使用する場合、所定の書式以外で提出するときは、題目変更締切日までに「ワ

ープロ書式所定外作成届」を提出してください。

■提出最終日の締切時間「午後4時」とは、題目確認・ページ数の記入・目次の作成・見返し等をすべて整え製本した状態で提出する最終時間のことです。午後4時の段階で、この要件を満たしていない卒業研究は受理できませんので注意してください。

入学センター

オープンキャンパス ボランティア学生募集

オープンキャンパスとは、主に高校生を対象に、大谷大学・大谷大学短期大学部のことをよく知ってもらうために実施する大学見学会です。毎年2000名以上の高校生が大谷大学を見学に来ています。このオープンキャンパスでは例年在学生のボランティアの方に、見学者に渡す資料の準備や、当日の受付、施設案内、フリートークの

コーナーなどにご協力いただいています。

今年度も下記の日程でオープンキャンパスを実施いたしますので、高校生と話してみたいという人は、ぜひご協力ください。詳しくは入学センターまでお問い合わせください。クラブの有志での参加、一人で参加、1日だけの参加でも結構です。

問い合わせ先

入学センター(博綜館1階)
電話075-411-8114

オープンキャンパス開催日

7月31日(日) 10:00～16:00
8月1日(月) 10:00～17:00
8月2日(火) 10:00～17:00
9月23日(祝) 10:00～16:00

学 生 課

試験時の学生証の携帯について

7月21日(木)より7月29日(金)まで、前期定期試験が実施されます。

事前に「定期試験(受験注意事項)」(学生手帳73頁)を熟読しておいてください。

なお、定期試験は学生証を携帯

していないと受験できません。

万一、学生証を忘れた場合は、試験開始前に、学生課で仮学生証(発行当日のみ有効)の発行手続きをしてください。発行に際しては、手数料500円が必要です。

定期試験不正行為は厳禁!!

定期試験において、不正行為が発見された場合は、その試験期間の受験資格を失い、単位は与えられないなどの処罰を受けることがあります。試験には厳正な態度で臨んでください。

休暇中のアルバイトについて

夏期休暇を利用してアルバイトをしようとする場合は、安全で確実なものを選ぶことが大切です。賃金の高さにつられて、危険なアルバイトに手を出さないように注意してください。

アルバイトには、業務上の事故や、労働条件をめぐるトラブルが発生することがあります。信頼できる安全なアルバイトを選択するように心がけてください。

学生課では、安全なアルバイトの紹介を行うとともに、アルバイトについての様々な相談も行っています。困った事があった場合には学生課に相談してください。

海外渡航についての注意

夏期休暇を控え、学生諸君の中には海外渡航の計画を進めておられる方も多いと思います。近年、地震・台風等の自然災害や戦争・紛争等、海外で不測の事態に巻き込まれる危険が増大しています。渡航にあたっては、以下のホームページにて、渡航先の治安状況、衛生状態等を調査し、情報をこまめにチェックした上で慎重に計画を立ててください。利用する旅行

会社・航空会社について信頼できる会社であるか、緊急連絡体制は万全か確認してください。また、自分自身を守るため海外旅行傷害保険に必ず加入してください。

渡航については「学生渡航届」の提出が必要です。指導教員の承認を得たうえで必ず学生課に提出してください。

厚生労働省検疫所ホームページ
<http://www.forth.go.jp/>

(海外渡航者のための感染症情報)

外務省海外安全ホームページ
<http://www.pubanzen.mofa.go.jp/>

帰国後、体調に変化がある場合は、保健所に相談後、大学へ連絡してください。

本学連絡先

075-411-8120 (保健室)

2005年度 後期学生納付金の納入について

後期学生納付金の納入期限は9月30日(金)<銀行受付日付有効・納入期日厳守>です。

納入期限までに納入のない場合は、学則により除籍となりますので注意してください。振込依頼書は、保証人宛に8月31日に大学より発送します。

9月7日頃になっても振込依頼書が届かない場合、紛失、破損した場合には再発行いたしますので、財務課まで申し出てください。

事情により期限内納入が困難と予測される場合には、学生課にて学費延納の手続きを9月30日(金)ま

で行ってください。学費延納手続きには、「学費延納許可願(所定用紙)」および学費負担者の所得証明書(納税証明書・源泉徴収票等)が必要です。

2006年度前期学生納付金の納入期限は4月20日(木)です。前期学生納付金の振込依頼書については、3月31日に大学より発送します。

修業年限を超える学生に対する学費の減免について

○文学部 修業年限を超えて在学する者で、卒業に必要な単位が8単位以内の不足者は、授業料の5

割を減額します。

○短期大学部 修業年限を超えて在学する者で、卒業に必要な単位が8単位以内の不足者は、授業料の5割を減額します。

○修士課程 修業年限を超えて在学する者で、修了に必要な単位が2単位以内の不足者、又は修士論文のみ不足者は、授業料の5割を減額します。

○博士後期課程 修業年限を超えて在学する者で、学位論文のみ不足者は、授業料の5割を減額します。

2005年度 後期学生納付金一覧

文学部

		授業料	施設費	大谷学会費	学生会費	教育後援会費	同窓会入会金	同窓会終身会費	合計額
第1～3学年	真宗、仏教、哲、社会、史、文、国際文化学科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000			516,000
	人文情報学科	397,500	175,000	1,000	2,500	15,000			591,000
第4学年	本年度進級学生	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000	5,000	30,000	551,000
	// 人文情報学科	397,500	175,000	1,000	2,500	15,000	5,000	30,000	626,000
	同窓会入会金・終身会費納入済学生	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000			516,000
	// 人文情報学科	397,500	175,000	1,000	2,500	15,000			591,000

社会学科臨床心理学分野第2学年の学生は授業実習費20,000円が別途必要です。

短期大学部

		授業料	施設費	大谷学会費	学生会費	教育後援会費	同窓会入会金	同窓会終身会費	合計額
第1学年	仏教、文化学科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000			516,000
	幼児教育科	397,500	110,000	1,000	2,500	15,000			526,000
第2学年 仏教、文化学科	本年度進級学生	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000	5,000	30,000	551,000
	同窓会入会金・終身会費納入済学生	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000			516,000
第2学年 幼児教育科	本年度進級学生	397,500	110,000	1,000	2,500	15,000	5,000	30,000	561,000
	同窓会入会金・終身会費納入済学生	397,500	110,000	1,000	2,500	15,000			526,000

大学院

		授業料	施設費	大谷学会費	学生会費	教育後援会費	同窓会入会金	同窓会終身会費	合計額
修士 第1学年		240,000	60,000	1,000		15,000			316,000
博士 第1・2学年		240,000	60,000	1,000		15,000			316,000
修士第2学年・ 博士第3学年	本年度進級学生	240,000	60,000	1,000		15,000	5,000	30,000	351,000
	同窓会入会金・終身会費納入済学生	240,000	60,000	1,000		15,000			316,000

同窓会入会金・終身会費については、本学短期大学部・文学部を卒業、修士課程を修了時など過去に納入されていれば不要です。

進路就職センター

進路就職センターは、進学・就職全般についての相談窓口です。学年を問わず、気軽にご相談ください。

■就職ガイダンス（就職活動入門編）

（文学部第3学年・修士課程第1学年・博士後期課程第2学年対象）

日 時：2005年7月13日（水）17：50～

場 所：講堂

■進路・就職ガイダンス（進路・就職活動基礎編 ～自己分析研究等～）

（文学部第3学年・短期大学部第1学年・修士課程第1学年・博士後期課程第2学年対象）

日 時：2005年7月27日（水）・29日（金）17：30～

場 所：後日発表

※2日間実施します。いずれか1日に出席のこと。

■筆記試験対策講習（有料・定員有・申込制）

（文学部第3学年・短期大学部第1学年・修士課程第1学年・博士後期課程第2学年対象）

日 程：2005年9月12日（月）～9月16日（金）（5日間連続）

時間・場所：後日発表

申込期間：2005年7月14日（木）～8月1日（月）

■就職ガイダンス（業界・職種・企業研究編）

（文学部第3学年・修士課程第1学年・博士後期課程第2学年対象）

日 時：2005年9月28日（水）17：50～

場 所：講堂

■短大 就職ガイダンス（業界・職種・企業研究編）

（短期大学部第1学年対象）

日 時：2005年9月29日（木）17：50～

場 所：後日発表

■エントリー対策模試（無料・申込不要）

（文学部第3学年・短期大学部第1学年・修士課程第1学年・博士後期課程第2学年対象）

日 程：2005年10月6日（木）・10月7日（金）

時間・場所：後日発表

※2日間実施します。いずれか1日に出席のこと。

第1学年からのサービス紹介 ～キャリア形成を考える～

～資格取得を目指そう～

◎秘書技能検定対応ビジネスマナー講習

社会人となってから必要とされるビジネスマナーを、基本から応用まで幅広く学ぶ講習です。
※第77回秘書技能検定試験は11月13日(日)に実施されます。(要別途申込)

◎TOEICレベルアップ講習 第2回・第3回

第2回は400点・第3回は500点へのレベルアップを目指した対策講習を開講します。

〈受講コースの目安〉

★400点コース

○英検3級取得程度。○海外旅行で簡単な挨拶、食事の注文、買い物などの基礎的な会話はできます。

★500点コース

○英検準2級取得済み。○空港のアナウンスぐらいは聞き取れます。○ディズニーのアニメぐらいなら英語版でもほぼ理解できます。

◎マイクロソフトオフィススペシャリスト (Word・Excel) 対策講習

第2回・第3回・第4回・第5回

仕事をする上でもっとも使用されているWord・Excelについての講習です。また別途申込にてマイクロソフトオフィススペシャリスト検定試験も受験できます。

～難関試験に早期から備えよう～

◎公務員受験特別講習 基礎講座

公務員希望者を対象に、採用試験に対しての基礎的な受験対策講習を開講します。

今回の講習は、国家Ⅲ種・地方初級レベルから中級レベルに向けての一般知識・一般知能分野(数的推理・判断推理・資料解釈)対策となります。受講は学年を問いません。

※その他「教員受験特別講習」「社会福祉士対策講習」も実施予定です。詳細が決定次第掲示します。

●日程、時間、受講料等については予定です。実施要項や掲示等に注意してください。

秘書技能検定対応ビジネスマナー講習(2級) 第2回

	日程	時間	定員	受講料	テキスト	受付期間
9月	21(水)、28(水)、30(金)	17:50~20:00	70	5,000	学内書店にて購入	7月14日(水)~26日(火)
10月	5(水)、7(金)、14(金)					
10月	19(水)、21(金)、26(水)、28(金)					
11月	2(水)、4(金)、9(水)					

TOEICレベルアップ講習

●第2回

	日程	時間	定員	受講料	テキスト	受付期間
400点コース	9月	5(月)~9(金) 12(月)~16(金)	20	15,000	学内書店にて購入	7月14日(水)~26日(火)
	9月	19(月)、22(水)、26(月) 29(水)				
	10月	3(月)、6(水)、10(月)				

●第3回

	日程	時間	定員	受講料	テキスト	受付期間
500点コース	10月	18:00~20:00	20	15,000	学内書店にて購入	9月19日(月)~10月7日(金)
	10月					
	11月	7(月)、17(水)、24(水)				
	12月	1(水)、5(月)、8(水)、12(月) 15(水)、19(月)、22(水)				
1月	12(水)、16(月)、19(水)					

マイクロソフトオフィススペシャリスト対策講習

●第2回

	日程	時間	定員	受講料	テキスト	受付期間
8月	22(月)~25(水) 29(月)~31(水)	10:00~15:40	30	5,000	3,780円 学内書店にて購入	7月14日(水)~26日(火)
9月	1(水)					

●第3回

	日程	時間	定員	受講料	テキスト	受付期間
9月	5(月)~8(水) 12(月)~15(水)	10:00~15:40	30	5,000	3,780円 学内書店にて購入	7月14日(水)~26日(火)

●第4回

	日程	時間	定員	受講料	テキスト	受付期間
9月	30(金)	16:10~19:20	30	5,000	3,780円 学内書店にて購入	9月19日(月)~27日(火)
10月	7(金)、14(金)、21(金) 28(金)					
11月	4(金)、25(金)					
12月	2(金)、9(金)、16(金)					
1月	13(金)、20(金)					

●第5回

	日程	時間	定員	受講料	テキスト	受付期間
10月	4(水)、11(水)、18(水) 25(水)	16:10~19:20	30	5,000	3,780円 学内書店にて購入	9月19日(月)~27日(火)
11月	1(水)、8(水)、15(水) 22(水)、29(水)					
12月	6(水)、13(水)、20(水)					

公務員受験特別講習 基礎講座

	日程	時間	定員	受講料	テキスト	受付期間
10月	18(水)、20(水)、25(水) 27(水)	17:50~19:20	50	5,000	2,600円 当日会場にて販売	9月19日(月)~10月7日(金)
11月	1(水)、8(水)、15(水) 22(水)、29(水)					
12月	1(水)、6(水)、8(水)、13(水)					

「セクシュアル・ハラスメント防止のためのガイドライン」と 「人権問題相談窓口」について

2001年度に「大谷大学人権センター」が設置され、部落差別の問題や民族差別、障害者差別、性差別など、あらゆる人権侵害の問題に関する教育、研究、啓発を行っています。

また、セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）についても、これは「人権侵害」であるという認識にたつて、学習会やリーフレットの配布による啓発などを行っておりますが、それが性差別であるとの認識がまだ充分には定着していない現状があります。セクシュアル・ハラスメントは、先輩・後輩、教職員・学生など、力関係を背景にしておこなわれることが少なくありません。それゆえ、加害者の認識の不充分さは無論のことですが、被害を受けた側も、自分に非があると思ひ込んだり、泣き寝入りすることが多くあります。

本学では、誰もが安心して学び得る大学、気持ちよく仕事につける大学であることを願って、「セクシュアル・ハラスメント防止のためのガイドライン」を策定しておりますので、よくお読みいただき認識を深めるとともに、万一にもセクシュアル・ハラスメントの被害にあった場合は、「人権問題相談窓口」をご利用ください。

「人権問題相談窓口」は、セクシュアル・ハラスメントの問題に限らず、どのような人権侵害についても、秘密厳守の上で相談に応じておりますので、気軽にご利用ください。なお、「人権問題相談窓口」と「相談員」については、「学生手帳」(75ページ)に掲載しています。

(人権センター)

2001年4月1日

大谷大学セクシュアル・ハラスメント防止のためのガイドライン

大谷大学人権委員会

1. 目的

このガイドラインは、大谷大学（大谷大学短期大学部及び大谷大学大学院を含む。以下、「本学」という。）の構成員であるすべての学生（科目等履修生・聴講生・外国人留学研究生・研修員・公開講座の受講生等、本学で教育を受けるすべての者を含む。）及びすべての職員（契約職員・兼任職員・アルバイト職員等、本学で就労するあらゆる形態の者を含む。）が相互に人権を尊重し、修学、就労、教育及び研究の場としてふさわしい良好な環境を維持するため、セクシュアル・ハラスメントの防止とその対応策について必要な事項を定めることを目的とする。

2. 基本方針

セクシュアル・ハラスメントは不当な性差別であり、個人の尊厳を損ない人権を侵害する行為である。本学は、本学の建学の精神及び日本国憲法、教育基本法、男女雇用機会均等法、女性差別撤廃条約等の精神に則り、セクシュアル・ハラスメントの防止に努めるとともに、セクシュアル・ハラスメントが発生した場合に適正な対応と諸施策を講じる責務を負う。

すべての本学構成員は、このガイドラインの目的を理解し、セクシュアル・ハラスメントの防止とその解決に努めなければならない。

このガイドラインは、本学に関係するすべての者を対象とする。

3. セクシュアル・ハラスメントの定義

セクシュアル・ハラスメントとは、修学、就労、教育及び研究上の関係において、相手の意に反する性的な言動によって、修学、就労、教育及び研究上の不利益や利益を与え、又は修学、就労、教育及び研究上の環境を悪化させることをいう。

性的な言動とは、性的な関心や欲求に基づく言動をいい、性的な文書や図画の掲示や、性別により固定的な役割を分担すべきとする意識に基づく言動も含む。

不利益や利益とは、性的な欲求への服従又は拒否を理由に、進学、進級、成績評価及び教育・研究上の指導等を受ける際の取り扱いにおける不利益や利益、また、昇任、配置換え等の任用上の取り扱いや、昇格、昇給、諸手当等の給与上の取り扱いに関する不利益や利益、また、誹謗中傷を受けることその他事実上の不利益や利益をいう。

環境の悪化とは、セクシュアル・ハラスメントによって、修学、就労、教育及び研究に専念し難い程度に環境が不快なものになることをいう。

セクシュアル・ハラスメントの存在の有無の判断は、行為者本人の意図に関わらず、その行為が相手の意に反したものであるかどうかによる。

4. セクシュアル・ハラスメントに対する心がまえ

(1) 教員と学生の関係において、教員は成績評価や単位認定等に関わる重要事項についての権限を有している。したがって、そのことがセクシュアル・ハラスメントの基盤又は背景となりうることを十分に認識すべきである。

また、職員を指揮・監督する地位にある者と指揮・監督される地位にある者との関係においても、役職の上下関係そのものがセクシュアル・ハラスメントの基盤又は背景となりうることを十分に認識すべきである。

(2) セクシュアル・ハラスメントを起こさないためには、お互いの人格を尊重し、お互いが大切なパートナーであるという意識をもつことである。

したがって、相手を性的な関心の対象としてのみ見る意識をなくすこと、また、異性を劣った性として見る意識をなくすことが大切である。そして、相手を不快にさせる性的な言動や、性的な誘いかけと受け取られうる言動、性的に好意的な態度を要求していると受け取られうる言動等を避けるように心懸けるべきである。

また、セクシュアル・ハラスメントは異性間のみならず、同性間においても生じることに留意すべきである。

(3) セクシュアル・ハラスメントの被害を受けた場合は、相手に対して明確に拒否の意思表示をすることが望まれる。

明確な意思表示ができない場合は、その日時、場所、状況等について記録（メモ）を取り、信頼できる人に話しておく。また、自らがどのように対応したかも記録（メモ）に取っておく。できれば相談窓口で相談員に相談する。

セクシュアル・ハラスメントの場面を見聞きした場合や、被害者から相談を受けた場合は、できるだけ被害者の力になり、相談窓口に行くように勧める。セクシュアル・ハラスメントの被害にあったと感じた人は、自分にも落ち度があったとか、その場で意思表示できなかったなどと自分を責める必要はない。

(4) 性に関する言動に対する受け止め方には、個人や男女間で差がある。したがって、セクシュアル・ハラスメントであるか否かについては、セクシュアル・ハラスメントを受けた者の判断が重要である。

したがって、親しさを表すつもりと言動が相手を不快にさせる場合のあること、この程度のことは相手も許容するだろうと勝手に憶測しないこと、相手と良好な人間関係ができていないと勝手に思い込まないこと等に注意しなければならない。

また、セクシュアル・ハラスメントであるか否かについて、セクシュアル・ハラスメントを受けた者からいつも意思表示があるとは限らないことを十分に認識すべきである。状況や立場によって拒否の意思表示ができないことも少なくなく、それを同意や合意と勘違いしてはならない。

(5) 本学構成員はセクシュアル・ハラスメントが発生しないように、修学、就労、教育及び研究上の良好な環境を維持するために、日頃から注意する必要がある。

また、学外や職務時間外におけるセクシュアル・ハラスメントにも注意しなければならない。

さらに、本学構成員間のセクシュアル・ハラスメントに注意するだけでは不十分であり、関係する学内外者との関係にも注意する必要がある。

5. セクシュアル・ハラスメントになり得る言動の例

(1) 教室・研究室・職場の内外で起きやすいもの

A. 性的な内容の発言等

a. 性的な関心、欲求に基づくもの

- ・スリーサイズを聞く等、身体的特徴を話題にすること
- ・卑猥な冗談を交わすこと
- ・体調が悪そうな女性に「今日は生理日か」、「もう更年期か」等と言うこと
- ・「彼とはどんな関係か」等と、性的経験や性生活について質問すること
- ・「結婚しているのか」、「離婚したのか」等としつこく聞くこと
- ・性的なうわさを流したり、性的なからかいの対象とすること
- ・授業内容と関係のない性的な話題を授業中に持ち出すこと

b. 性別により差別しようとする意識に基づくもの

- ・「男のくせに根性がない」、「女には仕事を任せられない」、「女性は職場の花でありさえすればいい」、「女は学問などしなくてもよい」等と発言すること
- ・成人に対して、「男の子」、「女の子」、「僕、坊や、お嬢さん」、「おじさん、おばさん」等と人格を認めないような呼び方をする

B. 性的な行動等

a. 性的な関心、欲求に基づくもの

- ・ヌードポスター等を研究室や職場に貼ること
- ・雑誌等の卑猥な写真・記事等をわざと見せたり、読んだりすること
- ・職場のパソコンのディスプレイに卑猥な画像を表示すること
- ・身体を執拗に眺め回すこと
- ・食事やデートにしつこく誘うこと
- ・性的な内容の電話をかけたたり、性的な内容の手紙、Eメールを送りつけること
- ・身体に不必要に接触すること
- ・不必要な個人指導を行うこと
- ・浴室やトイレ、更衣室等をのぞき見すること

b. 性別により差別しようとする意識等に基づくもの

- ・女性であるというだけでお茶くみ、掃除、私用等を強要すること
- ・女性であるというだけの理由で、仕事や研究上の実績等を不当に高く又は低く評価すること
- ・男性であるというだけの理由で、仕事や研究上の実績等を不当に高く又は低く評価すること

(2) 主に教室・研究室・職場の外において起きやすいもの

a. 性的な関心、欲求に基づくもの

- ・性的な関係を強要すること
- ・ゼミやクラス、クラブ、サークル、職場等の旅行の宴会の際に浴衣に着替えることを強要すること
- ・出張への同行を強要したり、出張先で不必要に自室に呼ぶこと
- ・自宅までの送迎を強要すること
- ・住居等まで付け回すこと

b. 性別により差別しようとする意識等に基づくもの

- ・カラオケでのデュエットを強要すること
- ・酒席で、指導教員、上司等のそばに座席を指定したり、お酌やチークダンス等を強要すること

6. セクシュアル・ハラスメント防止のための施策

- (1) 本学は、セクシュアル・ハラスメントが起きやすい環境や慣習がある場合、それを改善するとともに、セクシュアル・ハラスメント防止のための啓発活動を行う。
- (2) 本学は、すべての本学構成員を対象としたセクシュアル・ハラスメント防止に関する研修又は学習活動を行う。
- (3) 本学は、本学における人権教育・研究に関する大綱を定め人権問題（セクシュアル・ハラスメントなどの性差別問題をはじめ、部落差別問題、民族差別問題、障害者差別問題等）全般に関する事項を審議する人権委員会を置く。
- (4) 本学は、本学の人権教育・研究・啓発を推進すること及び教育・研究の場にふさわしい環境づくりを推進することを目的とする人権センターを置く。
- (5) 本学は、人権問題全般にわたる教育・研究・啓発に関する具体的事項を企画立案し、これを推進することを目的とする人権教育推進委員会を置く。
- (6) 本学は、人権センター内に人権問題相談窓口を設置し、相談員を置く。相談窓口では、セクシュアル・ハラスメントの相談をはじめ、その他の人権問題全般に関する相談に対応する。
- (7) 本学は、セクシュアル・ハラスメントをはじめ、その他の人権侵害等に関する問題が生じた場合、人権問題調査委員会を設置する。

学問のしおり

幼少の頃、母親が夜店の古本屋さんで買ってくれた“一冊の童謡の本”によって、私は歌好きになったのだと思う。小学校時代は、歌よりもむしろ楽器、特にアコーディオンに憧れていた。円山公園の野外音楽堂で、「双頭の鷺の下に」を演奏したことを覚えている。ちなみに私はオルガンを弾いていた。中学校時代は、宝塚音楽学校志望の親友と共に、音楽教師から音楽の基礎であるソルフェージュを厳しく叩き込まれたが、読譜の難しさから、私は途中で逃げ出してしまった。高校時代は、通っている高校付属の大学のいずれかの学科に入学できればいいかと考え、合唱部に所属し、NHK合唱コンクールに参加するなど、音楽と生きていた。音楽に喜びを感じていた私は、音楽教師の強い勧めもあり、自分では考えてもいなかった音大受験に専念することとなった。先生自らがピアノと音楽理論を指導して下さり、また、私は2人の声楽家に師事した。この先生との出会いがなかったら、まったく別の道を歩んでいただろう。✧

また両親の理解に今も心から感謝している。

そして、音楽大学に入学。希望に満ちた学生生活は、朝早くから大学へ行き、練習に明け暮れる楽しい毎日だった。しかし、当時の練習を思うとオペラのアリアやイタリア・ドイツの歌詞の意味を調べてはいたものの、楽譜を読み、音程をつけ、あやしげな外国語で歌い、思いきり大きな声で気持ちを表現しようとしていただけで、ほんの入り口にすぎなかったのだと感じる。声楽担当の先生は、ドイツ歌曲専門だったので、生徒である私にもイタリア語の発音よりもドイツ語の発音の方が私の心に深く伝わってくるものがあつた。私は多くのドイツ歌曲に触れ、ドイツ語を学ぶため語学学校に通うようになった。

卒業して3年後、声楽の先生の勧めで、歌曲で有名なドイツ人の先生の下、7年間学んだ。先生は「ドイツ歌曲を学ぶには、まずドイツ語が話せることが第一条件、正しく美しい発音で歌うこと、音楽以外の色々な知識を得ることが



学びの出会い

豊住 征子

必要である」と話され、私は歌うことの難しさを感じた。留学中、西洋音楽の地で本場での音楽を聴けたこと、長い冬から春になっていく5月の喜びや森、湖、丘、牧場、教会などの美しい風景が、今も私の心に刻みつけられている。7年が過ぎ、東京在住のユーゴスラヴィア人の先生に師事したが、声の出し方がわからず、2年間の発声のみのレッスンの試練は辛かった。ある時期、自分の体格の貧弱さ、声のなさ、自分の下手な歌に対して大きな悩みを抱き、いっそ音楽から離れてしまおうかと思ったこともあった。しかし、現在、師事している日本人のドイツ歌曲専門の先生との出会いにより、発声法についてもようやく理解できるようになり、いつも励まされ、今では20年以上のお付き合いになる。私は、人と比較しなくなり、声が小さくてもホールに響き渡る声を目標に、自分に合った歌を選び、歌うようになった。しかし「舞台に出たら、声の出し方を意識せず、詩のことだけを考えて歌うように」と先生は、言葉の表

現の大切さを教えてくださったが、まだまだ先生のように歌えない。今まで、人前で何度も歌ってきたが、1度も満足したことはなく、また新たに勉強をしなければと毎回感じている。しかし、同時に音楽と関わっている自分は、なんて幸せなのだろうと思う。そして私自身が一步でもまだ上達したいという思いがある。だから世界の名伴奏者にひどく叱られ涙することもあつたが、色々なドイツ歌曲に挑戦するのだ。このように私はドイツ歌曲を専門にレパートリーを広げているが、留学して以来、“日本人である”という意識が強くなり、現在は、日本歌曲も歌っている。日本の唱歌や童謡そして日本の懐かしい歌も大好きだ。歴史の中で残っている美しい日本の歌を今の世の中だからこそ学生たちに伝え、歌い継いでいきたい。最後に大学の先生方との出会いを通して、学生たちが多くを学んでくれることを願う。

(とよすみ まさこ 教授 声楽)

2005年度 同窓会支部巡回講演会開催一覧

支部名	開催日	講師
函 館	7月5日(火)	一楽 真 助教授
小 樽	7月25日(月)	木村 宣彰 学 長
札幌・岩見沢・夕張	7月4日(月)	一楽 真 助教授
砂 川	7月7日(木)	沙加戸 弘 教 授
北 の 国	7月6日(水)	沙加戸 弘 教 授
室 蘭	7月26日(火)	木村 宣彰 学 長
深 川	7月26日(火)	高井 康弘 教 授
旭 川	7月27日(水)	高井 康弘 教 授
十 勝	7月26日(火)	築山 修道 教 授
網 走	7月27日(水)	築山 修道 教 授
紋 別	7月28日(木)	高井 康弘 教 授
名 寄	7月25日(月)	高井 康弘 教 授
釧 根	7月25日(月)	築山 修道 教 授
青 森	9月2日(金)	一楽 真 助教授
岩 手	9月1日(木)	一楽 真 助教授
宮 城	9月5日(月)	沙加戸 弘 教 授
秋 田	8月31日(水)	一楽 真 助教授
山 形	9月6日(火)	沙加戸 弘 教 授
福 島	9月4日(日)	沙加戸 弘 教 授
茨 城	9月5日(月)	木村 宣彰 学 長
栃 木	9月2日(金)	宮下 晴輝 教 授
群 馬	8月26日(金)	大内 文雄 教 授
埼 玉	9月3日(土)	宮下 晴輝 教 授
千 葉	9月4日(日)	木村 宣彰 学 長
東 京	8月5日(金)	宮下 晴輝 教 授
神 奈 川	8月27日(土)	大内 文雄 教 授
山 梨	8月6日(土)	宮下 晴輝 教 授
信濃学友会	9月9日(金)	加来 雄之 助教授
静 岡	8月19日(金)	兵藤 一夫 教 授
三 為 会	8月25日(木)	高井 康弘 教 授
尾張学友会	8月29日(月)	一楽 真 助教授
三 重	9月8日(木)	安富 信哉 教 授
大 垣	9月10日(土)	築山 修道 教 授
岐 阜	9月10日(土)	大内 文雄 教 授
郡 上	8月20日(土)	小野 蓮明 教 授
飛 騨	8月24日(水)	築山 修道 教 授

支部名	開催日	講師
三 条	9月8日(木)	加来 雄之 助教授
上 越	9月10日(土)	村松 法文 助教授
富 山	8月22日(月)	木村 宣彰 学 長
高 岡	8月25日(木)	藤嶽 明信 教 授
金 沢	8月26日(金)	藤嶽 明信 教 授
能 登	8月23日(火)	一楽 真 助教授
小 松	8月19日(金)	沙加戸 弘 教 授
大 聖 寺	8月18日(木)	沙加戸 弘 教 授
長 浜	8月7日(日)	藤嶽 明信 教 授
湖 東	9月10日(土)	兵藤 一夫 教 授
湖 南	9月4日(日)	織田 顕祐 助教授
湖 西	8月28日(日)	※支部総会のみ
丹 但	8月19日(金)	宮下 晴輝 教 授
鳥 取	9月9日(金)	沙加戸 弘 教 授
鳥 根	9月4日(日)	木越 康 助教授
大阪4支部合同	9月9日(金)	木村 宣彰 学 長
和 歌 山	8月28日(日)	※支部総会のみ
奈 良	8月20日(土)	築山 修道 教 授
神 戸・阪神	8月27日(土)	築山 修道 教 授
播 磨	9月10日(土)	宮下 晴輝 教 授
岡 山	9月3日(土)	木越 康 助教授
福 山	9月9日(金)	高井 康弘 教 授
広 島	9月8日(木)	延塚 知道 教 授
山 口	9月10日(土)	高井 康弘 教 授
四 国	9月2日(金)	木越 康 助教授
福 岡	8月25日(木)	木村 宣彰 学 長
久 留 米	9月2日(金)	大内 文雄 教 授
佐 賀	9月1日(木)	大内 文雄 教 授
大 分	8月30日(火)	織田 顕祐 助教授
北 九 州	8月24日(水)	木村 宣彰 学 長
長 崎	8月31日(水)	大内 文雄 教 授
熊 本	8月23日(火)	延塚 知道 教 授
宮 崎	8月27日(土)	宮下 晴輝 教 授
鹿 児 島	8月26日(金)	宮下 晴輝 教 授

谷大エリア散策

第20回 堀内薬局さん

北大路通の北東側には、北大路商店街の中でも古くから続くお店が並んでいます。「堀内薬局」のご主人・堀内亘（とおる）さんにお話を伺いました。



ご主人・堀内 亘さん

一 お店はいつ頃からですか

昭和2年からです。父が始めた店で、私は二代目です。ずっと北大路通に面したこの場所ですよ。

一 昔の北大路の様子について

烏丸通がもっと広く、建物はまだ少なくて家の裏には原っぱが広がり、北大路通を隔てた向い側は馬場でした。家の前を牛や馬が歩いていましたよ。高い建物がないので遠くまでよく見通せ、大文字がきれいに見えました。大文字は出町辺りが正面に見えるいい場所だと言われますが、昔の北大路からの見え方もなかなか良かったですよ。現在の北大路橋の場所には橋がなくて、もう少し北に別の橋が架かっていました。

今では想像がつきにくいと思いますが、大変自然が豊かでした。賀茂川の流れはとてもきれいで、魚がたくさんいましたし、今のように整備されていない、自然のままの土手には野生の花がさまざまに咲いていました。冬は今よりずっと雪が多くて、土手でスキーをしましたよ。信じられないでしょう。紫明通は賀茂川から堀川へと続く疎水でした。

この辺りには意外と有名な方々が住んでおられましたね。今の警察病

院の斜め向いに大きな木のある広いお宅がありますね。昔、そこは建築家の武田伍一さんのお宅でした。京都の優れた近代建築物を数多く設計された方です。うちの裏手には当時の映画会社の社長さんのお宅がありまして、お正月になると女優さんが次々とお年始に来られるのを見かけましたよ。他にも京大農学部長の近藤先生や同志社女子高校の校長先生など、著名な学者さんが結構住んでおられる街だったのです。なぜか“有名人の家の表札はお守りになる”という迷信が一部にあったらしく、「表札を度々盗まれて困る」という話を耳にしました。

一 大谷大学との関わりについて

昔の大谷大学のグラウンドはとても開放的で、近所の子供達のいい遊び場でした。私もトンボ釣りなどをよく遊びました。町内の運動会があったり、皆よく利用させてもらっていました。大谷大学の他には師範大（京教大）と付属学校、立命館高校のグラウンドなどが私達の遊び場でしたよ。

私事ですが、神経科医の宇佐晋一先生は中学の同級生です。大学の広報誌を読んで、学生相談室におられることを知りました。お元氣でご活躍で喜ばしいです。

一 谷大生との交流はありましたか

特に学生さんがよく来られたということはなかったと思います。下宿もしていませんでしたし、でもいまだにお顔を見せて下さる先生もおられます。

お隣の北陽理髪店さんと近くの本田さん（西村写真店さん）、高城さん（三星堂さん）のお宅にはしょっちゅう大勢の学生さんが出入りしておられました。本田さんはスキー部

の人が多かったでしょうか？ ご主人がとても面倒見のよい方でしたので、学生さん達が自分の家のようにしておられました。



お客様のお問い合わせ

一 薬屋さんの仕事について

昔は病院では薬を調剤せず、どんな薬でも薬屋で調合して作っていたのですよ。それを近くの病院へ納めていました。子供の頃から正露丸のような丸薬を丸めるのを手伝われましたし、配達も手伝っていました。

店には薬だけでなくいろんなものを売っていました。ロウソク、石鹸、歯ブラシなど、生活に必要な小物はたいてい置いていました。ちょうど荒物屋や雑貨屋のようでしたね。薬屋へ行くとたいてい何でも揃う、という感じでした。法律が改正されていって、薬剤専門になったのは私が大学の頃だったのでしょうか。今では薬よりも健康食品の方がよく売れます。おしめも赤ちゃん用はもう置いていなくて介護用のみです。何もかも随分と変わりましたね。

一 ありがとうございます



堀内薬局さんの外観

写真でふりかえる 大谷大学今昔

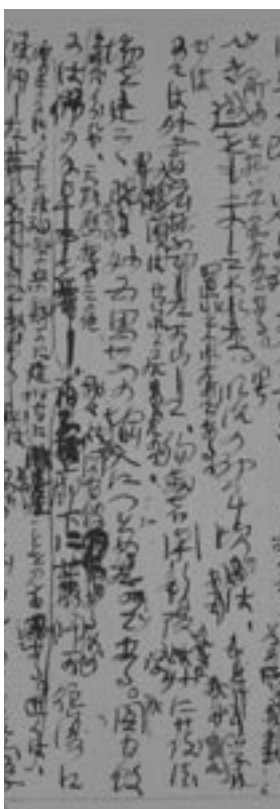
闡彰院空竟



空竟が愛用した蓑



佐々木月樵「大谷大学樹立の精神」草稿



闡彰院空竟の死

佐々木 令 信

闡彰院空竟は、文化元年（一八〇四）に生まれ、入寺の時期は不明であるが、天保六年（一八三五）、三十二歳の時に伏見・西方寺の住職となった。はじめ義燈と称し、法名は空竟である。後に東瀛、瀛洲と名乗って、闡彰院と号した。彼は護法場の開設に尽力し、その総括者となり、明治四年（一八七二）十月四日に暗殺された。その原因や実行者については、現在に至るまで不詳である。

護法場とは、江戸末期から明治初期にかけての時代変革期にあつて、儒者や国学者からの排仏論や、キリスト教をはじめとする外来の宗教や諸思想の流入という事態に直面して、仏教を直接の研究対象とする宗乗と余乗以外の「外学」を専門に研究・教育することを目的として、明治元年（一八六八）に学寮の敷地の外に新たに開設された学場であつた。外学研究から得られた視点は、従来の本山寺務が本山家臣に依存して行われてきていたことに対する批判としても表れ、開かれた宗門の運営を求める動きの発信基地となつた。

このような動きの中で暗殺された闡彰院空竟は、「殉教者」として扱われてきた。第三代学長佐々木月樵は、大正九年（一九二〇）空竟の五十回忌が、伏見・西方寺で勤められた時の記念誌『闡彰院の死』において、宗門寺務所改革を行おうとした「殉教者」として空竟を語っている。その後、大正十四年（一九二五）の入学宣誓式における「大谷大学樹立の精神」では、

明治の初年頃は、学内では外書の繙読は厳禁せられて居たので、殉教者闡彰院の如きは学外に護法場を建てて、専ら外国思想の輸入につとめたのである。我図書館にはその時のバイブルや、天路歷程やその他師の手沢本を蔵し、師の寺には、今もなほ建白書に殉教の血の鮮かに附着し居るのを見ることである。

と述べられている。この演説は、大学令にもとづく大谷大学設立認可の後、学生改革を終えた時のもので、闡彰院空竟は、開かれた学への「殉教者」としての新たな位置づけを得ることとなった。当時、図書館階段の踊り場には、空竟が日頃愛用していた蓑が飾られており、大谷大学の象徴として仰がれた。

(NANKAI) れいしん 教授 日本仏教史

2005年度 課外活動春季大会結果

【団体成績】

クラブ名	日程	対戦校	結果	会場	
卓球部(男子) 関西学生卓球連盟春季リーグ戦 IV部Cブロック 1位	4月29日(金)	京都学園大学	○3-0	近畿大学記念会館	
	4月29日(金)	京都府立大学	○不戦勝	〃	
	4月29日(金)	大阪学院大学	○3-2	〃	
	5月7日(土)	大阪電気通信大学	○3-1	京都市立体育館	
	5月7日(土)	流通科学大学	○3-1	〃	
III部-IV部入替戦<III部昇格> 卓球部(女子) 関西学生卓球連盟春季リーグ戦 III部Bブロック 1位	5月8日(日)	大阪工業大学	○3-0	〃	
	5月8日(日)	大阪市立大学	●2-3	〃	
	5月15日(日)	大阪教育大学	○3-0	大阪経済法科大学	
	4月29日(金)	京都大学	○3-0	近畿大学記念会館	
	4月29日(金)	京都女子大学	○3-0	〃	
II部-III部入替戦<III部残留> 柔道部(男子) 京都学生柔道連盟京都学生柔道大会 2部5位	5月7日(土)	天理大学	○不戦勝	京都市立体育	
	5月7日(土)	大阪市立大学	○3-0	〃	
	5月8日(日)	関西学院大学	●2-3	〃	
	5月1日(日)	明治鍼灸大学	●1-4	京都産業大学第2体育館	
	5月1日(日)	舞鶴高専	▲2-2	〃	
柔道部(女子) 関西学生女子柔道優勝大会 一回戦敗退	5月22日(日)	摂南大学	●2-3	尼崎市記念公園総合体育館	
	硬式野球部 京滋大学野球連盟春季リーグ戦 I部2位	4月9日(土)	京都学園大学	○4-2	西京極球場
		4月10日(日)	〃	○6-3	〃
		4月18日(月)	花園大学	○10-2	太陽が丘球場
		4月19日(火)	〃	●1-6	西京極球場
4月23日(土)		京都教育大学	○7-4	佛教大学園部グラウンド	
サッカー部 関西学生サッカー連盟春季リーグ III部Aブロック1位	4月24日(日)	〃	○4-3	〃	
	4月27日(水)	花園大学	●3-5	太陽が丘球場	
	5月7日(土)	佛教大学	●2-13	佛教大学園部グラウンド	
	5月8日(日)	〃	●1-9	〃	
	5月14日(土)	滋賀大学	○9-4	太陽が丘球場	
	5月15日(日)	〃	○7-0	京都学園大学グラウンド	
	4月2日(土)	芦屋大学	○1-0	芦屋総合グラウンド	
	4月9日(土)	兵庫県立大姫路	○4-1	大阪芸術大学グラウンド	
	4月10日(日)	大阪府立大学	○2-1	大阪府立大学グラウンド	
	4月24日(日)	京都工芸繊維大学	○6-1	大谷大学湖西キャンパス	
III部-II部入替戦<II部昇格> 剣道部(男子) 西日本学生剣道大会 2回戦敗退	4月29日(金)	大阪芸術大学	○3-0	〃	
	5月1日(日)	滋賀大学(教育学部)	△0-0	滋賀大学グラウンド	
	5月5日(木)	佛教大学	○6-2	大谷大学湖西キャンパス	
	5月8日(日)	関西国際大学	○4-0	〃	
	5月14日(土)	龍谷大学	●2-3	龍谷大学南大日グラウンド	
	6月19日(日)	神戸大学	○2-1	大谷大学湖西キャンパス	
	5月28日(土)	久留米工業大学	○3-2	福岡市民体育館	
	5月28日(土)	福山平成大学	●2-5	〃	
	バスケットボール部(男子) 京都学生バカボーン選手権大会 予選ブロック2位	5月3日(火)	京都大学	●52-93	精華大学
		5月5日(木)	京都府立大学	○94-58	精華大学
バスケットボール部(女子) 京都学生バカボーン選手権大会 予選ブロック1位	5月3日(火)	花園大学	○41-38	京都精華大学	
	5月4日(水)	京都大学	○53-33	〃	
	5月5日(木)	京都教育大学	●42-65	〃	
全関西女子学生バカボーン選手権大会 2回戦敗退	4月17日(日)	甲南大学	○60-55	大谷大学	
	4月24日(日)	龍谷大学	●30-76	奈良文化女子短期大学	
ソフトテニス部(男子) 関西学生ソフトテニス連盟 春季リーグ戦 V部Dブロック3位	4月24日(日)	京都産業大学	●1-4	大谷大学湖西キャンパス	
	4月24日(日)	滋賀大学	●1-4	〃	
	4月24日(日)	追手門学院大学	○3-2	〃	
ソフトテニス部(女子) 関西学生ソフトテニス連盟春季リーグ戦 V部Dブロック降格	4月23日(土)	京都産業大学	●1-2	四天王寺国際仏教大学	
	4月23日(土)	大阪大学	●1-2	〃	
	4月23日(土)	四天王寺国際仏教大学	●0-3	〃	
京都学生ソフトテニス連盟京都学生大学対抗	3月26日(土)	滋賀女子短期大学	●0-2	同志社大学	
	3月26日(土)	京都教育大学	○2-1	〃	
	3月27日(日)	滋賀女子短期大学	●0-2	〃	
バドミントン部(男子) 京都学生バドミントン連盟春季リーグ戦 III部3位	4月10日(日)	京都薬科大学	○5-0	龍谷大学	
	4月17日(日)	滋賀県立大学	○5-0	佛教大学	
	4月24日(日)	京都府立大学	○4-1	龍谷大学	
	4月29日(金)	びわこ成蹊スポーツ大学	●2-3	京都大学	
	5月3日(火)	京都工芸繊維大学	●2-3	〃	
バドミントン部(女子) 京都学生バドミントン連盟春季リーグ戦 II部1位	4月10日(日)	滋賀教育大学	●2-3	龍谷大学	
	4月17日(日)	京都府立大学	○4-1	佛教大学	
	4月24日(日)	京都外国語大学	○4-1	龍谷大学	
	4月29日(金)	京都大学	○3-2	京都大学	
	5月3日(火)	同志社大学	○4-0	〃	
I部-II部入替戦<I部昇格> バレーボール部(男子) 関西学生バレーボール連盟春季リーグ戦 IV部降格	5月3日(火)	京都教育大学	○3-2	〃	
	4月24日(日)	佛教大学	●0-3	奈良産業大学	
	4月29日(金)	大阪経済大学	●1-3	〃	
	5月5日(木)	大阪教育大学	●0-3	大手前大学	
	5月8日(日)	桃山学院大学	●0-3	〃	
	5月15日(日)	大阪大学	●0-3	大谷大学	
	5月22日(日)	奈良大学	●1-3	京都府立大学	
	5月29日(日)	関西外国語大学	●2-3	奈良産業大学	
バレーボール部(女子) 関西学生バレーボール連盟春季リーグ戦 春季リーグ戦 IV部4位	4月24日(日)	花園大学	○3-0	京都精華大学	
	4月29日(金)	京都府立大学	●0-3	京都府立大学	
	5月5日(木)	大阪外国語大学	●1-3	大谷大学	
	5月8日(日)	神戸市外国語大学	●2-3	神戸市外国語大	
	5月15日(日)	摂南大学	○3-2	〃	
	5月22日(日)	関西福祉大学	○3-1	摂南大学	
	5月29日(日)	大阪芸術大	○3-0	大谷大	

【個人成績】

●空手道部

<関西学生空手道連盟 個人選手権大会>
於 兵庫県立総合体育館 (2005年4月29日)

最優秀選手賞 森 悠 祐
(文学部哲学科 第4学年)

●硬式野球部

<京滋大学野球連盟春季。部リーグ戦>
於 西京極球場他 (4月2日~5月23日)

敢闘賞 井上 陽次郎
(文学部人文情報学科 第4学年)

ベストナイン

・二塁手 橋本 龍 弥
(文学部国際文化学科 第3学年)
・外野手 井上 陽次郎
(文学部人文情報学科 第4学年)

打撃ベストテン

・第3位 橋本 龍 弥
(文学部国際文化学科 第3学年)
・第4位 井上 陽次郎
(文学部人文情報学科 第4学年)
・第6位 早田 純 也
(文学部仏教学科 第1学年)
・第10位 辻井 吉 祥
(文学部真宗学科 第3学年)

●陸上競技部

<関西学生陸上競技対抗選手権大会>
於 長居陸上競技場 (5月19日~5月22日)

三段跳び
・第2位 北條 智 秀
(文学部真宗学科 第3学年)

●跆拳道部

<W.A.T.A OPEN テコンドー選手権大会>
於 長居陸上競技場 (5月19日~5月22日)

男子一般 初級フライ
・3位 山本 了
(文学部真宗学科 第3学年)

男子一般 初級ライト
・2位 目崎 明 弘
(文学部仏教学科 第4学年)

出版物紹介

『不可思議な日常』

池上哲司 著
東本願寺出版部 刊
(2005.4) 291頁



『チベット仏教の原典『菩提道次第論』 悟りへの階段』

チホンチュブ・ラムリム・チュンワ
ツォンカパ 著
ツルティム・ケサン (白館戒雲)
藤仲孝司 共訳
UNIO 刊
(2005.6) 415頁

『《満州国》文化細目』

植民地文化研究会 編
李 青 分担執筆
不二出版 刊
(2005.6) 760頁



【学内刊行物】

『光華叢書6

『宗教の相貌—民族と宗教を考える—』
延塚知道 分担執筆
京都光華女子大学 真宗文化研究所 刊
(2005.3) 248頁

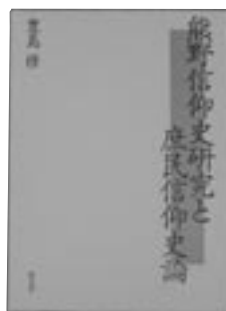
『人権センター叢書 vol.1

『部落問題の今—両側からこえる—』
住田一郎 著
大谷大学人権センター 刊
(2005.4) 65頁

『熊野信仰史研究と

庶民信仰史論』

豊島 修 著
清文堂出版 刊
(2005.4) 370頁



『Africana: The Encyclopedia of the African and African American Experience』

Kwame Anthony Appiah and
Henry Louis Gates, Jr. 編
古川哲史 分担執筆
Oxford University Press 刊
(2005.4) 4500頁



『[自己]の揺らぎと変異

—<歪んだ関係>から問い掛ける—』

滝口直子・鄭早苗 編著
渡辺啓真 分担執筆
アカデミア出版会 刊
(2004.9) 270頁

『在日韓国・朝鮮人と人権』

大沼保昭・徐龍達 編・共著
鄭早苗 分担執筆
有斐閣 刊
(2005.5) 280頁

「大谷大学広報05—秋」発行のお知らせ

「大谷大学広報05—秋」の発行を11月に予定しています。さまざまなエッセイや連絡事項などを掲載する予定です。ぜひお読みください。広報は次の場所に置いてありますので、ご自由にお取りください。

①博綜館ピロティエ (博綜館入口横) ②学内食堂 ③各研究室 ④至誠館 (学生課カウンター前) ⑤1号館1階 ⑥2号館1階
また、大谷大学ホームページから、バックナンバー含め広報の閲覧が可能です。

http://www.otani.ac.jp/annai/shuppan/d_kouhou.html

大谷中学校・高等学校からのお知らせ

◆【今熊野セミナー】

大谷中学校・高等学校では、生徒の保護者の方々や近隣の方々にお集まりいただき、真城義磨学校長の講話をもとにして、お話し合いをしていただき、その中から生徒たちのより良き成長を共に考えていく【今熊野セミナー】を、開催しています。有り難いことに年々参加者が増加してきて活況を呈しています。一度ご参加してみてください。

本年の予定と講話の内容は、以下のようになっていますので、お知らせいたします。

第3回 2005年 10月13日(木) 午後2時より、第一会議室にて テーマ「今、いのちがあなたを生きている」	第4回 12月2日(金) 午後2時より、第一会議室にて テーマ「貨幣が出ると大地が死ぬ」	第5回 1月31日(火) 午後2時より、第一会議室にて テーマ「宗教教育とは」
---	--	---

◆【オープンキャンパス&学校説明会】の日程一覧（申込手続きは不要です。）

本校へ入学を希望する小学生・中学生、そして保護者の方々を対象に開催いたします。一般の方々もご参加いただけます。

※オープンキャンパス

日時
2005年 7月31日(日)
小学生対象は、
午前9時より12時まで
中学生対象は、
午後1時半より4時まで

内容

学校紹介・説明（講堂にて）
その後、施設・クラブ見学や
授業体験、入試個人相談など

※学校見学会

日時
中学校の部
— 2005年 10月7日(金)
午前10時より
— 2005年 10月9日(日)
午前9時より

日時

高校の部
— 2005年 10月7日(金)
午前10時より
— 2005年 10月8日(土)
午前9時より

※学校説明会

中学校の部
日時 2005年 10月8日(土)
午前9時より（講堂にて）
高校の部
日時 2005年 10月9日(日)
午前9時より（講堂にて）

※中学入試説明会

日時 2005年 11月19日(土)
午前10時より（講堂にて説明）
その後、個別相談に応じます

※高校入試説明会

日時 2005年 12月10日(土)
午後1時より（講堂にて説明）
その後、個別相談に応じます

九州大谷短期大学からのお知らせ

表現学科 演劇放送フィールド 26期生 中間発表

『冬物語』

作：ウィリアム・シェイクスピア
訳：小田島 雄志
演出：日下部 信（本学専任講師）
照明：赤司 晴彦
音響：今村 和雄
舞台美術：福田 美穂
出演：2年生28名

〈あらすじ〉

「シチリアの王リオンティーズとボヘミア王ポリクシニーズは子どもの頃からの親友。だがリオンティーズは、自分の妻ハーマイオニと彼の間不義があったと疑い、臣下のカミローに彼の殺害を命じる。王妃の潔白を信じるカミローは、ポリクシニーズにその話

を打ち明け、共にボヘミアへ抜け出すが、一方王妃ハーマイオニは投獄されてしまう・・・。」

— 四大悲劇を書き上げた後の、シェイクスピア晩年に近い頃の「ロマンス劇」上演！

☆学内公演

〈とき〉

7/14(木)19:00～・15(金)19:00～
16(土)16:00～・17(日)14:00～

〈ところ〉

大学内 大谷小劇場

☆学外公演

〈とき〉

7/22(金)19:00～
23(土)10:00～

〈ところ〉

サザンクス筑後小ホール

※開場は開演の30分前です。
※いずれも入場無料です。

お問い合わせ

九州大谷短期大学
表現学科演劇放送フィールド
TEL:0942-53-9894
〒833-0054
福岡県筑後市蔵数495-1



研究室だより

総合研究室から

7月、8月、9月の総合研究室の開室は以下のとおりです。定期試験、夏期休暇等により開室時間の変更があるので、注意してください。

7月										
								1	2	
3	4	5	6	7	8	9				
10	11	12	13	14	15	16				
17	18	19	20	21	22	23				
24	25	26	27	28	29	30				
*										
31										

○定期試験による開室時間延長
定期試験の1週間前となる7月14日から7月29日の平日(緑字)は、閉室時間を1時間延長し、20時30分閉室となります。

8月										
		1	2	3	4	5	6			
7	8	9	10	11	12	13				
14	15	16	17	18	19	20				
21	22	23	24	25	26	27				
28	29	30	31							

○夏期休暇期間の開室日について
夏期休暇期間は、平日のみの開室となり、通常の土曜日に準じた開室時間となります。集中講義が始まる9月5日から平常開室となります。

9月										
								1	2	3
4	5	6	7	8	9	10				
11	12	13	14	15	16	17				
18	19	20	21	22	23	24				
					*					
25	26	27	28	29	30					

平日(黒字)は、9時開室 19時30分閉室 7月14日から7月28日の平日(青字)は9時開室 20時30分閉室
□は、10時開室 17時30分閉室 ■は、閉室日

※7月31日(日)、9月23日(金 祝)は、オープンキャンパスのため、10時開室 17時30分閉室。
※8月10日(水)～8月21日(日)は、響流館燻蒸のため閉室。
※9時開室、19時30分閉室日は、大学院生による20時30分までの延長開室が行われる予定です。

学会だより

大谷学会

◎10月20日(木)13時～16時

大谷学会秋季研究発表会

(於:メディアホール)

発表者:鈴木 幹雄 教授

李 青 助教授

谷口奈青理 助教授

三木 彰円 講師

真宗学会

◎10月18日(火)15時～

真宗学会大会

講師:阿部 謹也氏(一橋大学名誉教授)

水島 見一 助教授

仏教学会

◎7月8日(金)～9日(土)

第2学年一泊研修懇談会

(於:湖西キャンパスセミナーハウス)

◎7月14日(木)16時10分～

研究発表例会(於:尋源講堂)

発表者:清水 洋平 任期制助手

栗山 哲

(大学院博士後期課程仏教学専攻 第3学年)

C.BUNCHIRD

(大学院博士後期課程仏教学専攻 第3学年)

◎10月

修士論文中間発表会

宗教学会

◎7月12日(火)16時10分～18時

大拙忌記念講演会(於:尋源講堂)

講師:荒牧 典俊 教授

講題:『ハイデガー哲学とカトリシズム』

◎7月13日(水)、10月19日(水)

真宗学会例会

日本史の会

◎7月30日(土)13時30分～

日本史の会大会・総会

(於:メディア・ホール)

発表者:佐々木令信 教授

堀内 智氏(思文閣出版)

茨木 敏仁氏(井手町教育委員会)

佐竹 章吾氏

(近江八幡市かわらミュージアム)

◎10月29日(土)14時～

日本史の会例会

国文学会

◎10月8日(土)

国文学会講演会(於:尋源講堂)

講師:村上 學 教授

講題:未定

文藝学会

◎7月5日(火)13時～16時

公開講演会(於:メディア・ホール)

講師:乾 源俊 教授

講題:「李白について私が知っている二、三の事柄」

講師:阪口 弘之氏(神戸女子大学教授)

講題:「近松研究の軌跡ー近松誕生

三百五十年祭をふりかえってー」

西洋文学研究会

◎7月16日(土)14時30分～

西洋文学研究会年次大会

(於:博綜館5階第5会議室)

1 総会

2 研究発表

発表者・テーマ:

モニカ・バーテ 教授・謡曲『井筒』の

英訳の変遷とその解釈(仮題)

吉田 孝夫 助教授・近世ドイツの木霊

の詩ーバッハのエコーアリアのことなど

(仮題)

小坂 美樹 任期制助手・『贋金つかいの

日記』の存在意義:エドゥアールとジョ

ルジュの出会いの場面からわかること

(仮題)

独文学会

◎10月1日(土)～10月23日(日)

ファウスト 伝説と作品

フランクフルト・ゲーテ博物館の名品

(於:大谷大学博物館)

※詳細は後日掲示しますので積極的に参加してください。

2006年度 入学試験日程

【大谷大学文学部】

試験区分	学 科	募集人員	出願期間	試 験 日	合格発表日	入学手続締切日
自己推薦入試	仏 教 学 科	10名	9月 9日(金)～ 9月22日(木) (締切日消印有効)	10月8日(土) 面接	10月14日(金) 10:00	第1次 10月28日(金) 第2次 1月24日(火) (いずれも締切日消印有効)
公募制推薦入試 (A方式=小論文型)	真 宗 学 科	10名	10月20日(木)～ 11月 4日(金) (締切日消印有効)	11月20日(日)午前 11月21日(月)午前 (試験日自由選択制)	11月26日(土) 10:00	第1次 12月13日(火) 第2次 1月24日(火) (いずれも締切日消印有効)
	哲 学 学 科	10名				
	社 会 学 科	20名				
	史 学 学 科	10名				
	文 学 学 科	10名				
	国 際 文 化 学 科	10名				
公募制推薦入試 (B方式=1教科型)	真 宗 学 科	10名	10月20日(木)～ 11月 4日(金) (締切日消印有効)	11月19日(土) 午前	11月26日(土) 10:00	第1次 12月13日(火) 第2次 1月24日(火) (いずれも締切日消印有効)
	哲 学 学 科	10名				
	社 会 学 科	20名				
	史 学 学 科	10名				
	文 学 学 科	10名				
	国 際 文 化 学 科	10名				
一般入試 [第1期] (3教科型)	真 宗 学 科	16名	1月13日(金)～ 1月24日(火) (締切日消印有効)	2月 4日(土) 2月 5日(日) (試験日自由選択制)	2月14日(火) 10:00	第1次 2月27日(月) 第2次 3月17日(金) (いずれも締切日消印有効)
	哲 学 学 科	14名				
	社 会 学 科	35名				
	史 学 学 科	20名				
	文 学 学 科	14名				
	国 際 文 化 学 科	20名				
一般入試 [第1期] (2教科型)	真 宗 学 科	16名	1月13日(金)～ 1月24日(火) (締切日消印有効)	2月 6日(月) 2月 7日(火) (試験日自由選択制)	2月14日(火) 10:00	第1次 2月27日(月) 第2次 3月17日(金) (いずれも締切日消印有効)
	哲 学 学 科	14名				
	社 会 学 科	25名				
	史 学 学 科	8名				
	文 学 学 科	14名				
	国 際 文 化 学 科	20名				
一般入試 [第2期]	真 宗 学 科	4名	2月10日(金)～ 2月22日(火) (締切日消印有効)	3月 7日(火) 午前	3月10日(金) 10:00	3月17日(金) (締切日消印有効)
	哲 学 学 科	4名				
	社 会 学 科	8名				
	史 学 学 科	4名				
	文 学 学 科	4名				
	国 際 文 化 学 科	5名				
一 般 入 試 [大学入試センター試験 利用入試・前期]	真 宗 学 科	2名	1月13日(金)～ 1月20日(金) (締切日消印有効)	1月21日(土) 1月22日(日) 大学入試センター試験 (本学での個別学力試験等は課さない。)	2月14日(火) 10:00	第1次 2月27日(月) 第2次 3月17日(金) (いずれも締切日消印有効)
	哲 学 学 科	2名				
	社 会 学 科	4名				
	史 学 学 科	2名				
	文 学 学 科	2名				
	国 際 文 化 学 科	3名				
一 般 入 試 [大学入試センター試験 利用入試・後期]	真 宗 学 科	2名	2月10日(金)～ 2月22日(火) (締切日消印有効)	1月21日(土) 1月22日(日) 大学入試センター試験 (本学での個別学力試験等は課さない。)	3月10日(金) 10:00	3月17日(金) (締切日消印有効)
	哲 学 学 科	2名				
	社 会 学 科	4名				
	史 学 学 科	2名				
	文 学 学 科	2名				
	国 際 文 化 学 科	2名				
第3学年推薦編入 [前期]	各 学 科	76名以内 [注3]	9月 9日(金)～ 9月22日(木) (締切日消印有効)	10月 8日(土) 面接	10月14日(金)	第1次 10月28日(金) 第2次 1月24日(火) (いずれも締切日消印有効)
第3学年推薦編入 [後期]	各 学 科		11月16日(水)～ 11月30日(水) (締切日消印有効)	12月17日(土) 面接	12月23日(金)	第1次 1月24日(火) 第2次 3月17日(金) (いずれも締切日消印有効)
第3学年一般編入学	各 専 門 分 野	若干名 [注4]	2月 2日(木) 2月14日(火) (締切日消印有効)	2月28日(火)	3月 6日(月) 10:00	3月17日(金) (締切日消印有効)

[注1] 大谷大学短期大学部文化学科、九州大谷短期大学卒業見込者に限る。
 [注2] 大谷大学短期大学部仏教科・幼児教育科、九州大谷短期大学、その他指定短大卒業見込者に限る。
 [注3] 募集人数・学科は指定短大ごとに異なる。
 [注4] 社会福祉学分野・臨床心理学分野・人文情報学分野は募集しない。

【大谷大学短期大学部】

試験区分	学 科	募集人員	出願期間	試 験 日	合格発表日	入学手続締切日
公募制推薦入試 (A方式=小論文型)	仏 教 学 科	13名	10月20日(木)～ 11月 4日(金) (締切日消印有効)	11月20日(日)午前 11月21日(月)午前 (試験日自由選択制)	11月26日(土) 10:00	第1次 12月13日(火) 第2次 1月24日(火) (いずれも締切日消印有効)
	文 化 学 科	15名		11月19日(土) 午後		
公募制推薦入試 (B方式=1教科型)	仏 教 学 科	10名	10月20日(木)～ 11月 4日(金) (締切日消印有効)	11月19日(土) 午後	11月26日(土) 10:00	第1次 12月13日(火) 第2次 1月24日(火) (いずれも締切日消印有効)
	文 化 学 科	15名				
一般入試 [第1期]	仏 教 学 科	10名	1月13日(金)～ 1月24日(火) (締切日消印有効)	2月 4日(土) 2月 5日(日) (試験日自由選択制)	2月14日(火) 10:00	第1次 2月27日(月) 第2次 3月17日(金) (いずれも締切日消印有効)
	文 化 学 科	20名				
一般入試 [第2期]	仏 教 学 科	5名	2月10日(金)～ 2月22日(火) (締切日消印有効)	3月 7日(火) 午後	3月10日(金) 10:00	3月17日(金) (締切日消印有効)
	文 化 学 科	6名				
一 般 入 試 [大学入試センター試験 利用入試・前期]	仏 教 学 科	2名	1月13日(金)～ 1月20日(金) (締切日消印有効)	1月21日(土)・22日(日) 大学入試センター試験 (本学での個別学力試験等は課さない。)	2月14日(火) 10:00	第1次 2月27日(月) 第2次 3月17日(金) (いずれも締切日消印有効)
	文 化 学 科	4名				

【大谷大学大学院】

試験区分	課 程	募集人員	出願期間	試 験 日	合格発表日	入学手続締切日
秋 季 試 験	修 士 課 程	各専攻共定員の 50%程度	9月 9日(金)～ 9月22日(木) (締切日消印有効)	10月 7日(金) 筆記 10月 8日(土) 面接	10月14日(金) 10:00	第1次 10月28日(金) 第2次 1月24日(火) (いずれも締切日消印有効)
外国人留学生入試	博 士 後 期 課 程	若干名	9月30日(金)～ 11月 1日(火)	12月17日(土) 筆記・面接	12月26日(月) 10:00	1月24日(火)
社 会 人 入 試	修 士 課 程	若干名	9月 9日(金)～ 9月22日(木) (締切日消印有効)	10月 7日(金) 筆記・面接	10月14日(金) 10:00	第1次 10月28日(金) 第2次 1月24日(火) (いずれも締切日消印有効)
春 季 試 験	博 士 後 期 課 程	18名	2月 2日(木)～ 2月14日(火) (締切日消印有効)	2月27日(月) 筆記 2月28日(火) 面接	3月 6日(月) 10:00	3月17日(金) (締切日消印有効)
	修 士 課 程	各専攻共定員の 50%程度				

お問い合わせ 大谷大学・大谷大学短期大学部
入学センター TEL.075-411-8114

学生相談室から



先日、私の乗っている車の走行距離が二十万キロを超えた。以前の車が、走行距離十九万七千キロで壊れて現在の車に買い換えたので、念願かなって嬉しく、チョッピリ自慢気の私である。しかし、冷静になって考えてみると、とても自慢できることではなく、恐ろしいことである。約十年で二十万キロ走破したので、一日平均約六十キロ走ったことになる。毎日六十キロずつ走り続けて、私は、この十年間一体何をしてきたのだろう。

蓮如上人は、「行きさきむかいばかりみて、足もとをみねば、踏みかぶるべきなり。人の上ばかりにて、わがみのうえのことをたしなまずは、一大事たるべき」と指摘された。私に限らず現代人の多くは、「忙しく生活を送ることが充実感」と錯覚してはいないだろうか。外にばかり目を向けてその場限りの暇つぶしに終始し、自分自身の内的世界の点検を怠ると後悔することになるという上人の言葉を、再認識してみる必要がある。車が故障でもしないと走ることをやめられない

忙しさは充実感？

学生相談室の開室について

場 所	曜 日	相談室	学生相談員	相談日時
学生相談室 (博綜館1階)	月曜日	1 2	谷口奈青理	10時30分～16時00分
	火曜日	1 2	菊岡 千夏	10時30分～16時00分
	水曜日	1	宇佐 晋一 (神経科校医)	第2週・第4週 13時00分～16時00分
		2	佐賀枝夏文	10時30分～14時00分
	木曜日	1 2	讓 西賢 菊岡 千夏	10時30分～16時00分
	金曜日	1 2	菊岡 千夏	10時30分～16時00分

い生活、忙しく走り回っている人が充実していると錯覚している価値観こそ見直されるべきである。

谷大生のあなた、自分の本当の生活送れていますか？

(ゆずり さいけん)

讓 西賢

【学生数】

(2005年6月1日現在)

学部	学 科	第1学年			第2学年			第3学年			第4学年			合 計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
文学部	真宗学科	68	13	81	95	7	102	102	18	120	109	17	126	374	55	429
	仏教学科	67	21	88	74	16	90	68	25	93	106	12	118	315	74	389
	哲学科	63	16	79	58	32	90	55	34	89	68	47	115	244	129	373
	社会学科	97	93	190	82	88	170	79	110	189	85	118	203	343	409	752
	史学科	50	38	88	49	33	82	59	36	95	67	56	123	225	163	388
	文学科	32	58	90	32	49	81	22	65	87	57	67	124	143	239	382
	国際文化学科	50	71	121	39	75	114	42	79	121	55	94	149	186	319	505
	人文学科	79	38	117	79	33	112	73	54	127	72	46	118	303	171	474
	文学部合計	506	348	854	508	333	841	500	421	921	619	457	1076	2133	1559	3692
大学院	修士課程	43	9	52	49	7	56							92	16	108
	博士後期課程	12	2	14	14	5	19	16	9	25				42	16	58
	大学院合計	55	11	66	63	12	75	16	9	25				134	32	166
短期大学部	仏教科	37	14	51	36	20	56							73	34	107
	文化学科	20	78	98	20	101	121							40	179	219
	幼児教育科	11	75	86	8	70	78							19	145	164
	短期大学部合計	68	167	235	64	191	255							132	358	490
総 合 計	629	526	1155	635	536	1171	516	430	946	619	457	1076	2399	1949	4348	

2005年度後期 生涯学習講座開講

大谷大学では様々な教養をお求めの方に、本学の知的資産をベースとした生涯学習講座を開講しています。本学ならではの宗教・信仰を求めていく講座、21世紀をいかに生きるかをテーマとする最先端講座、京都の文化の奥深さを知る講座と切り口は多様です。そこには常にひとのこころが流れています。大谷大学の生涯学習講座にご期待ください。

2005年度 後期開放セミナーのご案内

○親鸞真筆『坂東本』に学ぶ親鸞の生涯

2004年度に開講した『坂東本・教行信証』の続編の講座として開講します。2005年度は、親鸞の生涯はもとより、坂東本の伝授の歴史と、それを伝えてきた人々の思いについて、また坂東本の修復と、新たな発見について言及します。

講師 三木 彰円 (大谷大学講師)

開講日 11月16日、30日、12月7日、14日 いずれも水曜日

時間 17:50~19:20

定員 100名 (先着順)

会場 メディアホール

受講料 4,000円 (税込)

締切日 11月2日(水)

○初しぐれ 猿も小猿を欲しげなり—芭蕉の開いた新世界—

付合芸文の大きな流れの中に位置付けてみれば、俳人松尾芭蕉は明らかに異端です。しかしその松尾芭蕉の開いた俳諧の新世界が類稀なる荘厳優美で洗練されたものであることは、まぎれもない事実です。その大きな新世界を旅してみたいと思います。

講師 沙加戸 弘 (大谷大学教授)

開講日 調整中

時間 17:50~19:20

定員 100名 (先着順)

会場 メディアホール

受講料 6,000円 (税込)



2005年度 後期紫明講座のご案内

○2004スマトラ島沖地震と京都の歴史地震

2004年12月26日にスマトラ島沖で発生した超巨大地震は、それにより引き起こされた津波のため、22万人以上もの人がインド洋周辺の国々で犠牲になりました。インド洋は太平洋と比較して地震が少ないため、津波という現象がそれほど知りわたっていなかったことが1つの原因であるといわれています。

しかし過去の記録を調べると、19世紀、津波を伴った地震はスマトラ島を何度も襲っています。また日本では東南海沖地震の可能性があるとされていますが、日本列島西部は今回のスマトラ島と様々な面で条件がよく似ています。そのような観点で京都を中心とした過去の地震より今後の防災のよすがとしたいと思います。

講 師 西田 潤一（大谷大学教授）

開講日 9月22日、29日、10月6日 いずれも木曜日

時 間 17:50～19:20

定 員 100名（先着順）

会 場 メディアホール

受講料 3,000円（税込）

締切日 9月8日(木)

2005年度 博物館セミナーのご案内

○一歩すすんだ古文書読み解き講座（中級）

2004年度より開講されています「初めて学ぶ古文書読み解き講座」の発展した内容の講座です。受講生を対象とし、より高度な資料に取り組む。また記された内容だけでなく、その資料の意味、資料が残された背景にも考察は及びます。

講 師 平野 寿則（大谷大学専任講師）ほか

開講日 9月17(土)・10月1(土)・15(土)・11月3(木)・23(木)・12月3日(土)

今回はその他学内イベントの調整のため、祝日にも開講日が予定されています。
ご注意ください。

時 間 1 講時：10:00～11:00 2 講時：11:10～12:10

定 員 20名

会 場 マルチメディア演習室

受講料 18,000円（税込）

締切日 9月2日(金)



2005年度 大谷大学京都学講座のご案内

○ 荘厳の京都学

京都検定の開催、多様な京都本刊行など、京都をキーワードとしたブームは今もなお、続いています。「京都学」という言葉も生まれ、各大学や関連団体でも様々な角度から「京都学」をテーマとする講座が開講されています。しかし1200年の歴史の中で、宗教、文化、芸能、産業など京都がもつテーマは深遠です。そこで大谷大学でも京都学講座を開講し、京都学確立の一助を担います。

講 師	第1回	伝統文化としての京都学	木村 至宏 (成安造形大学長)
	第2回	荘厳の絵画	畠中 光享 (京都造形芸術大学教授)
	第3回	聖なるもののこころとかたち —仏像・仏画の世界—	藤本 青一 (財団法人美術院国宝修理所所長)
	第4回	寺院と京の和菓子	山口 富蔵 (株式会社末富社長)
	第5回	荘厳のともし火—和蠟燭の世界—	和谷 篤樹 (わた悟商店10代目)
	第6回	京仏壇の世界	小堀 賢一 (株式会社小堀社長)
	第7回	荘厳の京都学	佐々木令信 (コーディネーター：大谷大学教授)

開講日 9月3日、10日、17日、24日、10月1日、8日、15日 (いずれも土曜日)

時 間 13:00~14:30

定 員 100名

会 場 メディアホール

受講料 全講座：7,000円 (税込) 希望する講座のみ受講：1,500円 (1講座/税込)

締切日 8月22日(月)

詳細なパンフレットをご希望の方は、下記までお問い合わせください。

また受講申し込みの際には、ハガキ、FAX、Eメールいずれかにて、

①講座名、②氏名・フリガナ、③〒・住所、④電話番号を明記してください。

連絡先

教育研究支援課KO係

T E L : 075-411-8161

F A X : 075-411-8162

MAIL : opensemi@sec.otani.ac.jp

※講座名、日程、受講料など変更になる場合があります。
その旨ご了承くださいますようお願いいたします。

「e-大谷公開セミナー」試験配信を開始 —受講モニター募集中—

本学では、この6月より全国の方を対象に、「e-大谷公開セミナー」の試験配信を行っています。

「e-大谷公開セミナー」とは、大谷大学がこれまでに開催した生涯学習講座を、eラーニングとして配信していくもので、いつでも、どこからでも、好きなところから学ぶことができる新しい学習形態です。

今回は、2004年度に開講した「親鸞真筆『坂東本・教行信証』—その伝持・公開と研究の歴史に学ぶ—」を順次試験配信し、全5回の講座が配信された後(7月11日予定)、受講者にeメールによるアンケートを実施(7月中旬予定)し、その回答をもとにさら

に充実した学習環境を整えていく計画です。尚、今回の試験配信期間は8月12日まで、受講定員は30名までとなっております。受講希望の方はお早めにお申してください。

受講申込、受講環境等の詳細については

<http://eln.otani.ac.jp/el/sin.html>

お問合せは、教育研究支援課まで。



財務の概況

大谷大学 大谷大学短期大学部

—大谷大学・大谷大学短期大学部 2004年度決算—

2004年度決算は、公認会計士および監事の監査を受けた上で、5月26日に開催された学校法人真宗大谷学園理事会・評議員会において承認されました。

本学の会計は、公認会計士による監査・指導を定期的に受けて処理されています。また、計算書類は、「学校法人会計基準」に従って、「資金収支計算書」「消費収支計算書」「貸借対照表」を作成しており、毎年決算承認後文部科学大臣に届け出ています。

2004年度資金収支計算書

(2004年4月1日～2005年3月31日)

(単位 円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	4,765,460,750	人件費支出	2,712,871,399
手数料収入	179,547,792	教育研究経費支出	1,264,415,181
寄付金収入	181,589,657	管理経費支出	451,483,869
補助金収入	344,829,058	借入金等利息支出	40,354,600
資産運用収入	36,203,193	分担金支出	10,000,000
資産売却収入	124,000	借入金等返済支出	141,326,000
事業収入	15,454,700	施設関係支出	10,576,650
雑収入	85,277,500	設備関係支出	111,560,006
前受金収入	838,094,000	資産運用支出	900,664,000
その他の収入	113,893,340	その他の支出	62,717,127
資金収入調整勘定	△886,283,926	資金支出調整勘定	△38,052,778
前年度繰越支払資金	6,916,287,716	次年度繰越支払資金	6,922,561,726
収入の部合計	12,590,477,780	支出の部合計	12,590,477,780

2004年度消費収支計算書

(2004年4月1日～2005年3月31日)

(単位 円)

消費収入の部		消費支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金	4,765,460,750	人件費	3,291,063,755
手数料	179,547,792	教育研究経費	2,092,935,589
寄付金	195,789,077	(うち減価償却額)	(830,377,380)
補助金	344,829,058	管理経費	476,099,905
資産運用収入	36,203,193	(うち減価償却額)	(24,490,036)
事業収入	15,454,700	借入金等利息	40,354,600
雑収入	87,412,948	分担金	10,000,000
		資産処分差額	2,786,712
		消費支出の部合計	5,913,240,561
帰属収入合計	5,624,697,518	当年度消費支出超過額	841,998,444
基本金組入額合計	△553,455,401	前年度繰越消費収入超過額	5,199,125,767
消費収入の部合計	5,071,242,117	翌年度繰越消費収入超過額	4,357,127,323

資金収支計算書

資金収支計算書は、その年度の教育研究活動などの諸活動に対応するすべての収入と支出の内容、並びにその年度内の支払資金の収入と支出の顛末を明らかにするものです。したがって、資金収入には、授業料や入学検定料、国からの補助金のほか、次年度の授業料等の前受金なども含まれます。資金支出には、人件費や教育研究にかかる経費、学生募集・広報など管理部門にかかる経費、借入金返済支出、施設関係支出、設備関係支出、貸付金支払支出などが含まれます。

資金収支の概況

2004年度の収入は、56億7400万円、支出は56億6800万円となり、翌年度繰越額は前年度額より600万円増の69億2200万円となりました。

資金収支計算書にもとづいて概要を説明いたします。

収入の部では、学生生徒等納付金収入が前年度比3.8%減の47億6500万円となり収入総額の72.6%を占めています。この減収は、学生数の定員の減少に伴って在学学生数が減少したためです。入学検定料等を含む手数料収入は、前年度比16.3%減の1億7900万円

となりました。これは、受験者数の減少によるものです。寄付金収入では、前年度とほぼ同額の1億8100万円となり収入総額の2.8%を占めています。補助金収入では国や地方公共団体からの補助で、3億4400万円余りとなり、収入総額の5.3%となっています。

支出では、人件費が27億1200万円となり前年度に比べ3400万円の減少となっています。学生の皆さんの教育研究および学生生活に直接かかわる教育研究経費は、12億6400万円となりほぼ前年度並みの額となっています。学生募集や総務、財務にかかわる管理経費は、前年度比5.8%減の4億5100万円となりました。施設関係の支出では、烏丸通電線地中化工事に伴い、烏丸通東西のキャンパス間を結ぶケーブルの配管の地中化や、3号館各部屋の電気錠のケーブルを光ケーブルにするなど、キャンパス内の環境整備に努め、1000万円を支出しました。設備関係の支出では、教育研究用の備品支出が1900万円、図書館・博物館の図書費として9000万円を支出しています。資産運用支出では、将来校舎等を整備するためや、パソコンや机・椅子等の設備の更新などのために9億円積み立てています。

消費収支計算書

消費収支計算書は、授業料や寄付金など負債とされない収入（帰属収入）と、施設・設備関係の減価償却額や資産の除却額などを含む、その年度に消費する支出（消費支出）との内容及び均衡の状態を明らかにするものです。すなわち、その年度の負債以外の収入と、人件費や諸経費などのいわゆるコストをあげ、バランスが取れているかを見るものです。

教育研究活動を提供する学校法人は、継続的な維持責任がより一層求められています。そのためには、資金収支の整合性が取れているだけでなく、帰属収入から必要な資産を継続的に保持するために組入れる基本金への組入額を引いた額（消費収入）と、消費支出とのバランスを見ることによって、当該年度だけでなく、将来的な財政の健全性を見ることが重要になってきます。この点、資金収支計算書に比べ消費収支計算書は、長期的な観点をもっているものといえます。

消費収支の概況

資金収支計算書と重複する項目を除いて説明します。寄付金では、現物寄付を金額換算して1400万円が含まれています。主に、教育後援会から1号館のAVシステムや体育館の防球ネットをご寄付いただいたものです。帰属収入の合計は、学生生徒等納付金の減収などにより、前年度比5.4%減の56億2400万円となりました。

基本金へは、施設関係、教育研究用機器備品、図書等の購入などによる2億5300万円と将来校舎を整備するための積立として3億円を組入れました。帰属収入から基本金組入額を差し引いた消費収入合計は、50億7100万円となっています。

支出では、人件費の退職給与引当金繰入額が前年度に比べ高額となっています。退職給与引当金は、教職員が退職したときに支給すべき退職金に備えて設定される引当金です。従来は期末時の要支給額の60%を基にして調整した額を計上していましたが、2004年度からは財政の健全化のために期末要支給額の100%を基にして調整した額を計上することにしたために、2004年度の退職給与引当金への繰入額は6億5400万円となりました。

支出の教育研究経費と管理経費には、建物や機器備品等の減価償却額が含まれています。教育研究経費の減価償却額は8億3000万円、管理経費の減価償却額は2400万円となっています。

2004年度は、先ほど記しましたとおり、退職給与引当金への繰入額が高額となりましたので、消費支

出合計額は59億1300万円となり消費収入合計額を上回る額となりました。

貸借対照表

学校法人の目的である教育研究活動を達成するためには、膨大な施設や設備など各種の運用財産を必要とします。貸借対照表は、これらの財産の保有状況を表し、教育研究に必要な財産が適正に維持管理されているかどうかを示すものです。この貸借対照表はその意味で重要であり、消費収支計算書とともに長期的な観点を持つものといえます。

ここでの資産は、大学が保有する土地、建物、現金預金などを示し、負債とは、借入金や退職給与引当金など、いずれ支出となって出て行くものを示します。基本金は、大学が必要な資産を永続的に維持するために、帰属収入のうちから組入れたものです。この基本金と消費収支差額の合計が正味財産となります。

貸借対照表

(2005年3月31日)

(単位 円)

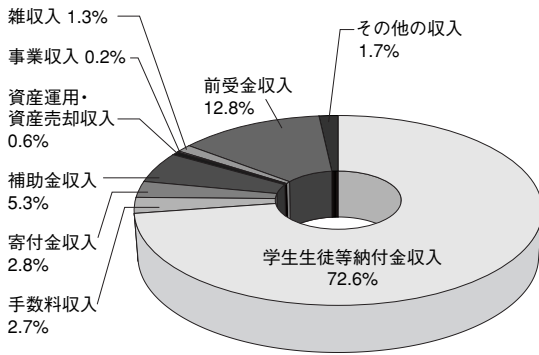
資産の部		負債及び基本金の部	
科目	2004年度末	科目	2004年度末
土地	7,895,139,063	長期借入金	1,630,950,000
建物	10,037,595,829	退職給与引当金	1,682,594,904
構築物	404,141,790	固定負債計	3,313,544,904
教育研究用機器備品	1,140,715,853	短期借入金	131,100,000
その他の機器備品	26,933,148	未払金	38,052,778
図書	2,967,238,474	前受金	838,094,000
車輛	2,973,375	預り金	58,137,729
電話加入権	2,690,372	流動負債計	1,065,384,507
施設利用権	453,081	負債の部合計	4,378,929,411
敷金	561,000		
長期貸付金	135,510,000	第1号基本金	26,689,282,622
引当特定資産	9,393,462,068	第2号基本金	2,700,000,000
固定資産計	32,007,414,053	第3号基本金	501,700,000
現金預金	6,922,561,726	第4号基本金	373,116,090
未収入金	65,735,926	基本金の部合計	30,264,098,712
貯蔵金	4,037,670		
前払金	187,071		
立替金	219,000		
流動資産計	6,992,741,393	翌年度繰越消費収入超過額	4,357,127,323
合計	39,000,155,446	合計	39,000,155,446

貸借対照表の概況

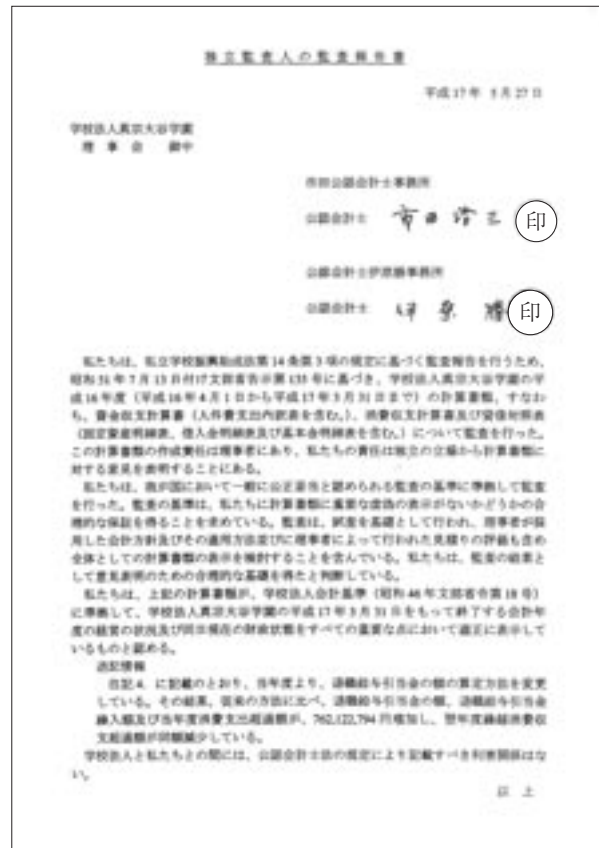
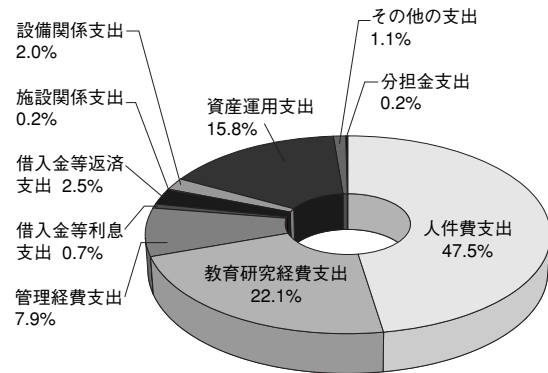
資産の総額は、390億円と、前年度に比べて1億6100万円の増加となりました。内訳は、有形固定資産が224億7400万円、その他の固定資産が95億3200万円、流動資産が69億9200万円となっています。

負債の合計は、43億7800万円と、前年度に比べて4億5000万円の増加となりました。内訳は、固定負債が33億1300万円、流動負債10億6500万円となっています。基本金は、302億6400万円と、前年度に比べて5億5300万円の増加となっています。

2004年度資金収支（収入の部）



2004年度資金収支（支出の部）



一大谷大学・大谷大学短期大学部 2005年度予算一

2005年度予算は、3月17日に開催された学校法人真宗大谷学園理事会・評議員会において承認されました。

本学は、「人間とは何か」「人間として生きるとは、どういうことか」という問いこそが何より大切であるとし、仏教精神によって自己を問うことを本学における学びの基本理念としています。2005年度もこの理念に基づき、教育研究を行うために予算を執行してまいります。

教育の面では、本年度より授業において教員を補佐するティーチングアシスタント制度を導入致しました。ティーチングアシスタントの導入によって、学生の皆さんが受講する授業において綿密な指導を受けることができるようになります。また、ティーチングアシスタントである大学院生との関係も深まり、授業時のみならず研究室における学習指導へと発展することも期待できます。さらに、ティーチングアシスタントとなる大学院生も、教育活動の補助的業務を行うことによって、各自の研究のみならず教育指導の力の発展にもつながることが期待されます。

情報環境整備では、インターネットを利用した公開講座の配信（e-ラーニング）を、今年度の1月から始めました。今年度は、本格的な運営の取り組みへ向けてさらに内容を充実させ、将来の情報環境にも積極的に取り組むよう計画しています。

また、大学内では講演会や学会など様々な行事が開催されています。それらの行事は、いずれも教材となりうる

内容をもっています。これらの行事を授業等の教材として利用できるように、収録システムを整備し、デジタル化して利用できるようにしていきます。

学生の皆さんの就職支援に関しましては、時宜に応じた就職情報の提供をはかり、就職指導の徹底とサービスの高品質化を目指します。従来の支援体制に加え、進路就職センター内に、企業で採用業務を経験した方に期間を定めて来ていただき、学生の皆さんの就職活動をサポートする体制をとります。また、新入生向けのキャリアデザインブックを作成し、入学後から進路意識を高めることによって、学生生活を充実させるとともに、進路活動に早期から取り組める環境を整えていきます。

施設関係では、バリアフリー対策として、部室棟にエレベーターの設置を予定しています。またその他にも、快適で安全なキャンパスの維持のために、各建物や設備の修繕を計画的に実施していきます。

大学就学人口の減少など大学にとって厳しい状況が続いておりますが、本学に学ぶ学生の皆さんが大学生活を送る中で、一人ひとりが「生きる力」を身につけ、輝ける人生を見つけていただけるように、キャンパス環境を整備するとともに、個性輝く大学として教育研究の一層の拡充を図ってまいります。

(事務局長 藤坂初裕)

2005年度資金収支予算書

(2005年4月1日～2006年3月31日)

(単位 円)

	収入の部		支出の部	
	科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入…授業料や、実習の際に納めてもらう実習料です。	学生生徒等納付金収入	4,619,520,000	人件費支出	2,867,952,000
資産運用収入…預金の利息や大学の施設利用料などです。	手数料収入	172,187,000	教育研究経費支出	1,383,497,000
事業収入…寮への入寮費や公開講座の受講料、就職講習の講習料などです。	寄付金収入	234,000,000	管理経費支出	497,150,000
前受金収入…次年度入学者の入学金や授業料などです。	補助金収入	334,630,000	借入金等利息支出	36,812,000
その他の収入…貸与奨学金の返還金などです。	資産運用収入	34,028,000	分担金支出	10,000,000
	事業収入	15,600,000	借入金等返済支出	131,100,000
	雑収入	70,663,000	施設関係支出	31,180,000
	前受金収入	763,910,000	設備関係支出	151,906,000
	その他の収入	91,899,000	資産運用支出	700,000,000
			その他の支出	61,960,000
			予備費	20,000,000
	資金収入調整勘定	△821,220,000	資金支出調整勘定	△40,000,000
	前年度繰越支払資金	6,922,561,726	次年度繰越支払資金	6,586,221,726
	収入の部合計	12,437,778,726	支出の部合計	12,437,778,726

施設関係支出…土地や建物等の取得にかかる支出です。

設備関係支出…大学の資産となる備品の取得にかかる支出です。教室の机、パソコン、図書などがこれにあたります。

資産運用支出…将来的な施設充実のために積立てるための支出です。

その他の支出…貸与奨学金の貸付金や前年度経費のうち年度を越えてから支払わなければならない支出のことです。

2005年度消費収支予算書

(2005年4月1日～2006年3月31日)

(単位 円)

	消費収入の部		消費支出の部	
	科目	金額	科目	金額
手数料…入学検定料や証明書発行手数料などです。	学生生徒等納付金	4,619,520,000	人件費	2,806,991,000
寄付金…有志の方々や真宗大谷派および教育後援会から寄付していただいているものが主です。	手数料	172,187,000	教育研究経費	2,184,653,000
補助金…国や京都市などからの補助金です。	寄付金	245,500,000	(うち減価償却額)	(801,156,000)
	補助金	334,630,000	管理経費	520,523,000
	資産運用収入	34,028,000	(うち減価償却額)	(23,373,000)
	事業収入	15,600,000	借入金等利息	36,812,000
	雑収入	77,406,000	分担金	10,000,000
			資産処分差額	1,866,000
			徴収不能引当金繰入額	648,000
			予備費	20,000,000
			消費支出の部合計	5,581,493,000
	帰属収入合計	5,498,871,000	当年度消費支出超過額	607,808,000
	基本金組入額合計	△525,186,000	前年度繰越消費収入超過額	4,357,127,323
	消費収入の部合計	4,973,685,000	翌年度繰越消費収入超過額	3,749,319,323

人件費…専任の教職員、非常勤講師、嘱託職員、アルバイト職員などの給与等です。

教育研究経費…教育や研究活動にかかる消耗品や通信費などの経費のことです。

管理経費…人事、総務、経理、職員の福利厚生や学生募集にかかる経費のことです。

「愛・地球博」が好評だそうだ。入場者が数百万人を超えたらしい。自慢じゃないけど、TDLもUSJも行ったことがない。長蛇の列や人混みが苦手なのだ。久しぶりの万博でもあり、愛・地球博はどうしたものか、いまだに迷っている。ものすごく興味をそそるようなものがあれば、行こうとも思うけれど、どういう博覧会か、いまひとつわからないのだ。

テーマがわかれば、魅力的な中身が見えてくるかもしれない。テーマは「自然の叡智」だという。でも、「叡智」ってなんだろう？ 人間の知恵のなかで考えら

れる最高のものことだろうか。だとしたら、自然に叡智という言葉を使うのは、ちょっとヘンな感じがする。

ぼくが愛・地球博で知っている情報は3つだけだ。「マンモスラボ」にマンモスのミイラ（冷凍マンモス）が展示してあること。アニメ映画の「となりのトトロ」にちなんだ「サツキとメイの家」があること。モリゾーとキッコロが公式のキャラクターであること。たったそれだけ。でも、いったいどのへんが自然の叡智なのだ？ どれをとっても、それらをプロデュースしている人たちの機を見るに敏なるスマ

ートさやたくましさには感心するけれど……。感じるのは、やっぱり自然よりも人間の知恵なのだ。

だけど、人間的な知恵を叡智と言うのは、じつはもっとヘンなのかもしれない。日本語で使う叡智という言葉の多くはヨーロッパ語の訳語なのだろうけど、近代以前の中世のヨーロッパでは「叡智」を「身体をもたない純粋な精神的存在」（天使みたいなもの）くらいの意味で使っていて、どう考えても人間には使えそうにない神々しい言葉だったからだ。まあそんなむずかしいことを言わなくても、日々

話題の広場 SQUARE

愛・地球博に迷う



絵 内山智廣

村山保史

のニュースを見聞きして、「人間こそ叡智の持ち主なり！」となんのためらいもなく断言できる人はいくらもないだろう。

人間に叡智がなさそうなら、あとは「地球」や「自然」といった人間よりも大きなものにはある、としか言いようがない。そういう意味では、人間の技術イケイケドンドンだった高度経済成長期の大阪万博のテーマが「人類の進歩と調和」であったのに対して、今回の愛・地球博では、「人類の叡智」でなく「自然の叡智」となったのにも、それなりの理由があることがわかる。

テーマの意味はなんとなくわかったけど、それじゃ早速見に行こうかという気分にはなれない。噂では、マンモスのミイラは動く歩道で1分ほどの見物で、

じっくり観察するどころではないと聞く。「サツキとメイの家」は1日の入場者を限定した完全予約制で、入館引換券の争奪戦が行われているという。モリゾーやキッコロにいたっては、会場まで足を運ばなくてもテレビでも会えるし……。それぞれ、それなりに魅力的だけど、なにか物足りなく感じてしまう。わざわざ出かけて、苦手な行列に並んでもなお感動を与えてくれそうななにかが、もうひと押し欲しいのだ。

あっ、もしかすると、会場では、愛・地球博限定のキャラがいて、モリゾーやキッコロと連れ立って仲良く歩いているかもしれない。売店には、オンラインショップでは購入できないような愛・地球博限定のレアなア

アイテムがひそかに売られているかもしれない。もちろん、ぼくが知らないようなパビリオンとか展示物もたくさんあるだろうし……。

もしそうなら、けっきょく行かずに済まして、限定キャラに会いそこね、レアアイテムは入手しそこね、貴重な展示物を見そこねて地団太を踏みながら悔し涙をポロポロ流している珍品大好き男に、いったい誰がなぐさめの言葉をかけてくれるというのか……。つべこべ言わずに、とりあえず行っというほうがいいのかな。行くべきか行かざるべきか——迷える哲学者に叡智のカケラもないことだけは、ほぼまちがない。

（むらやま やすし）
（助教授 西洋哲学）